

令和元年度 邑楽町第六次総合計画施策評価シート(結果)

基本施策	具体的な事業 取組状況 (PD)	KPI① 実績点数 (D)	KPI② 実績点数 (D)	KPI 課題捉方 (C)	KPI 改善方法 (A)	総合評価
(1)総合的な医療サービスの提供	33.33点	5.00点	7.50点	7.50点	7.03点	60.36点
(2)健康づくりの推進	37.50点	7.87点	15.00点	7.03点	7.66点	75.06点
(3)地域福祉活動の推進	35.71点	12.50点	12.86点	6.41点	6.09点	73.57点
(4)高齢者福祉の推進	42.50点	9.92点	10.00点	5.47点	6.09点	73.98点
(5)障がい者福祉の充実	35.00点	15.00点		7.34点	7.19点	64.53点
(6)社会保障制度の健全な運営	42.50点	14.52点	11.68点	6.09点	6.25点	81.04点
(7)子育て支援の充実	45.00点	23.82点		7.19点	6.88点	82.89点
(8)ひとり親福祉の充実	37.50点	30.00点		5.94点	6.41点	79.85点
(9)消防力と救急体制の充実	37.50点	15.00点	10.74点	7.34点	6.72点	77.30点
(10)防犯対策の推進	37.50点	15.00点	9.68点	7.34点	7.81点	77.33点
(11)危機管理体制の整備	37.50点	15.00点	8.82点	7.81点	7.34点	76.47点
(12)交通安全対策の推進	37.50点	10.00点	15.00点	6.72点	7.34点	76.56点
(13)消費者の安全対策の推進	37.50点	30.00点		7.97点	7.66点	83.13点
(14)相談事業の拡充	41.67点	15.00点	7.50点	7.03点	6.88点	78.08点
(15)農業の振興	32.50点	30.00点		7.19点	6.72点	76.41点
(16)工業の振興	31.25点	30.00点		7.03点	7.03点	75.31点
(17)商業の振興	25.00点	15.00点		7.03点	6.56点	53.59点
(18)良好な就労環境の整備	25.00点	20.04点		6.25点	6.41点	57.70点
(19)観光活動の活発化	50.00点	30.00点		8.13点	7.81点	95.94点
(20)計画的な土地利用の推進	31.25点	26.31点		7.81点	7.50点	72.87点
(21)交通環境の整備	35.00点	15.00点	12.19点	7.03点	7.66点	76.88点
(22)緑と水辺の保全と整備	21.88点	14.60点	15.00点	5.31点	5.31点	62.10点
(23)良好な住環境と市街地形成	25.00点	15.00点	12.71点	7.50点	7.34点	67.55点
(24)安定した上水道の供給	95.00点					95.00点
(25)温暖化防止対策の推進	28.13点	28.52点		6.25点	6.41点	69.31点
(26)快適な生活環境の創造	37.50点	30.00点		6.72点	6.56点	80.78点
(27)循環型社会の形成	42.50点	15.00点	15.00点	6.72点	7.34点	86.56点
(28)幼児教育・保育の充実	43.75点	15.00点	13.90点	7.81点	7.66点	88.12点
(29)質の高い学校教育の推進	37.50点	13.50点	14.38点	7.66点	8.13点	81.17点
(30)社会教育の振興と生涯学習社会の推進	50.00点	15.00点	13.14点	8.13点	8.28点	94.55点
(31)青少年の健全育成	45.83点	7.37点	7.31点	8.44点	7.19点	76.14点
(32)スポーツの振興	37.50点	13.81点	15.00点	7.50点	7.66点	81.47点
(33)文化財の保護と活用	33.33点	26.61点		7.66点	6.72点	74.32点
(34)芸術文化の振興	50.00点	15.00点	15.00点	8.13点	7.81点	95.94点
(35)多文化共生・国際化の推進	37.50点	25.20点		7.19点	7.50点	77.39点
(36)人権の尊重・男女共同参画社会の推進	40.00点	30.00点		7.81点	6.72点	84.53点
(37)地域コミュニティ活動の推進	34.38点	30.00点		7.03点	6.56点	77.97点
(38)情報共有と町民参画の推進	29.17点	15.00点	6.09点	7.34点	7.34点	64.94点
(39)協働のまちづくりの推進	50.00点	8.80点	15.00点	7.03点	7.03点	87.86点
(40)情報通信技術(ICT)の推進	34.38点	30.00点		7.03点	7.03点	78.44点
(41)効率・効果的な行政運営の推進	42.50点	24.38点		6.88点	6.56点	80.32点
(42)財政運営の健全性の確保	40.63点	30.00点		7.03点	6.72点	84.38点
(43)広域行政の推進	50.00点	20.84点		6.25点	6.88点	83.97点

※点数上限が違う箇所があるので縦列の平均点を足しあげても総合平均点とは異なります。

/50or100点 /15or30点 /15点 /10点 /10点 /100点

平均 38.9点 19.3点 12.0点 7.1点 7.0点 **77.71点**

# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針1地域で支え合う健康と福祉のまち			基本計画 K P I ①担当課	健康福祉課	
	基本計画	_1総合的な医療サービスの提供			担当及び K P I ②担当課	健康福祉課	
目的	町民誰もが、いつでも、どこでも、安心して適切な医療を受けられる体制を整える。						
P D C A ( P D )	PLAN 施策の方向性			DO			
	(1)	地域医療体制の確立	健康福祉課	一部取り組んでいる	50	66.7	
	取組内容	国内でも大都市に医師が集中するなど医師不足は問題ですが、県内でも前橋保健医療圏に医師が集中しており、医師の偏りが顕著です。太田・館林医療圏では人口10万人当たりの病院従事医師数が83.6人と県内で最も少なく、特に、館林市邑楽郡内での産科医に関しては年々減少しています。ハイリスクな妊娠の増加や新生児医療を専門とする医師の減少等から、地域周産期母子医療センター運営費補助金を交付しました。					
	(2)	高齢者医療の充実	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	医療・介護等の専門職や地域の方々など他職種の協働による地域ケア会議を開催し、個別課題の解決に向けた協議を行いました。また、自立に資するケアマネジメントの視点やサービス等の提供に関する知識が深められるよう自立支援型地域ケア会議を行いました。退院調整ルールの見直しや在宅医療・介護連携相談センターたておうが中心となり、在宅医療・介護連携の推進を行いました。					
	(3)	救急医療の充実	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	救急医療において、足利市等県外搬送やドクターヘリを使い前橋地域への患者の搬送もみられます。しかし、二次救急医療機関として、24時間の救急診療に取り組んでいる公立館林厚生病院が救急の受入れの大部分を担っています。救急病院の問合先や休日当番医・夜間急病診療所等に関する広報活動に努めました。また、新生児全戸訪問の際、子どもの病気やけがなどの対処法や応急処置をまとめた小冊子を配布すると同時に「#8000」の子ども医療電話相談の普及啓発により医療機関への適正受診を推進しました。					
	(4)						点数
(5)						33.33	
(6)							
(7)							
目 標 ① ( D )	KPI	中核病院である館林厚生病院の常勤医師の確保(小児科)				<p>達成率 33.3% ×係数 15 点数 5.00</p>	
	H32	3.0		単位	人		
	年度	指標		成果	達成率		
	H28	1.0	人	1.0	人		100.0%
	H29	2.0	人	1.0	人		50.0%
	H30	2.0	人	1.0	人		50.0%
	H31	3.0	人	1.0	人		33.3%
H32	3.0	人		人	#N/A		
目 標 ② ( D )	KPI	中核病院である館林厚生病院の常勤医師の確保(産婦人科)				<p>達成率 50.0% ×係数 15 点数 7.50</p>	
	H32	3.0		単位	人		
	年度	指標		成果	達成率		
	H28	1.0	人	0.0	人		0.0%
	H29	1.0	人	0.0	人		0.0%
	H30	1.0	人	0.0	人		0.0%
	H31	2.0	人	1.0	人		50.0%
H32	3.0	人		人	#N/A		
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数		
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 60.36点 /100点	
	33.33点 /50点	5.00点 /15点	7.50点 /15点	7.50点 /10点	7.03点 /10点		

# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり						
	基本方針	基本方針1地域で支え合う健康と福祉のまち		基本計画 K P ①担当課	健康福祉課			
	基本計画	2.健康づくりの推進		担当及び K P ②担当課	健康福祉課			
目的	町民一人ひとりが健康の大切さを自覚し、自らが進んで健康づくりに取り組み、生涯にわたって健康が維持できる町とする。							
P D C A  ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO					
	(1)	健康意識の普及・啓発	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75	75.0		
	取組内容	健康おうら21(健康増進計画・食育推進計画)に基づき、健康意識の普及・啓発に努めました。また、保健センターを拠点に健康ウォーキング、ロコモティブシンドローム予防教室、高血圧や糖尿病重症化予防教室の開催などを推進しました。						
	(2)	健康チェック体制の強化	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75	×係数		
	取組内容	生活習慣病予防や重症化を阻止するため、30歳を対象としていた生活習慣病健診を25歳から39歳までに拡大し、疾病の早期発見に努めました。また、血圧や血液検査を実施する特定健診とがん検診を同日開催し、休日けんしん等開催することで、町民の利便性を高めたけんしん体制の整備を推進しました。また、死因原因のトップとなっているがんを早期に発見するため、医師会の協力を得て子宮頸がんや胃内視鏡(カメラ)検診の個別検診も実施できる体制を整え、がん検診を推進しました。						
	(3)	感染症予防対策の強化	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75	50%		
	取組内容	各種感染症の情報提供により予防知識の普及・啓発を図るとともに、国の風しんの追加的対策として、成人男性の風しん抗体検査及び風しん第5期定期予防接種を実施しました。なお、新型インフルエンザ等の新興感染症について、マニュアルを整備し、発生時に早期対応できる体制を整備しました。						
	(4)	精神保健体制の充実	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75	点数		
取組内容	精神科医師によるこころの健康相談や県のアウトリーチ事業等の相談体制の充実に努めました。また、困難事例については関係各課や医療機関との連携強化により、家庭訪問やケース会議により課題の把握や支援につなげました。自殺予防対策として、計画に基づき進捗状況を確認するとともに、住民への理解を深めるための講演会や民生委員向けゲートキーパー養成講座を開催しました。							
(5)	健康増進活動の充実	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75	37.50			
取組内容	健康増進活動では、誰でも手軽に実践できる「ウォーキング」を推進し、町独自で作成したウォーキングマップをリニューアルし、健康ウォーキング教室等で活用しました。また、高齢者を対象とした「まずまず元気教室」などの介護予防教室の充実に努めました。							
(6)	食育の推進	健康福祉課	概ね計画通り取り組んでいる	75				
取組内容	群馬県食育推進計画や健康おうら21に基づき、食や減塩に関する知識の普及啓発、食育に関連する「おやこ食育教室」等の開催により正しい食習慣からの健康づくりを推進しました。							
(7)								
目標① ( D )	KPI	大腸がん検診受診率				<p>前基準での統計数値なので現基準数値とは異なります</p> <p>(%) 指標 成果 達成率</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	達成率	
	H32	35.0		単位	%		52.4%	
	年度	指標	成果	達成率			×係数	
	H28	33.6	%	32.3	%		96.1%	15
	H29	34.0	%	31.1	%		91.5%	点数
	H30	34.4	%	30.0	%		87.3%	7.87
	H31	34.7	%	18.2	%		52.4%	
H32	35.0	%		%	#N/A			
目標② ( D )	KPI	糖尿病による死亡率(人口10万人当たり)				<p>集計時期の関係で、成果数値は前年度実績値となります</p> <p>H26実績22.5人と目標値間の実績値位置で達成率表示</p> <p>(人) 指標 成果 達成率</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	達成率	
	H32	17.0		単位	人		100.0%	
	年度	指標	成果	達成率			×係数	
	H28	18.5	人	15.1	人		100.0%	15
	H29	18.0	人	19.0	人		77.8%	点数
	H30	17.5	人	22.9	人		0.0%	15.00
	H31	17.2	人	15.3	人		100.0%	
H32	17.0	人		人	#N/A			
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄				
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数			
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄				
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数			
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)	
	37.50点 /50点	7.87点 /15点	15.00点 /15点	7.03点 /10点	7.66点 /10点		75.06点 /100点	



令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針1地域で支え合う健康と福祉のまち			基本計画	K P I ①担当課 健康福祉課	
	基本計画	3 地域福祉活動の推進			担当及び	K P I ②担当課 健康福祉課	
目的	町民誰もが家庭や地域のなかで「その人らしい自立した生活」を送ることができるように、地域での「助け合い」「支え合い」の体制を整える。						
P D C A ( P D )	PLAN			DO			
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	地域福祉計画の取組		健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	71.4
	取組内容	誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるような関係や仕組みを構築するため、各種研修会、講習会を開催し「助け合い」「支え合い」の関係づくりを図りました。					
	(2)	福祉思想の普及・啓発		健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	「社会福祉協校フォローアップ」の指定を行い、小中学校の子どもの対象として福祉教育を行った。					
	(3)	民生委員・児童委員活動の充実		健康福祉課	計画調書通り取り組んでいる	100	50%
	取組内容	定例会、各委員会の活動を定期的に行うとともに、関係機関との連携を密に行い情報共有を図ることで充実した活動に結びついた。					
	(4)	社会福祉協議会の充実		健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数
	取組内容	健全な財政運営のため、協議会会員への加入促進や共同募金配分金の確保に努めた。					
(5)	NPO・ボランティア活動の育成		健康福祉課	あまり取り組んでいない	25	35.71	
取組内容	自主的な福祉活動を促進するため、啓発活動に取り組んでいますが、地域ボランティア等の育成には結びついていない						
(6)	助け合い運動の推進		健康福祉課	計画調書通り取り組んでいる	100	35.71	
取組内容	民生委員児童委員や地域住民が中心となり、見守り活動を行った						
(7)	避難行動要支援者の行動計画策定		安全安心課	一部取り組んでいる	50	35.71	
取組内容	避難行動要支援者名簿の作成及び関係機関との共有は順調に実行できているが、要支援者の個別計画の策定までは至っていない。						
目標① ( D )	KPI	ボランティア団体数					達成率
	H32	7.0		単位	団体	(団体) 達成率	83.3%
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28	5.0	団体	5.0	団体	100.0%	15
	H29	5.0	団体	5.0	団体	100.0%	点数
	H30	6.0	団体	5.0	団体	83.3%	12.50
	H31	6.0	団体	5.0	団体	83.3%	
H32	7.0	団体	#N/A	団体	#N/A		
目標② ( D )	KPI	NPO法人数					達成率
	H32	8.0		単位	法人	(法人) 達成率	85.7%
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28	6.0	法人	6.0	法人	100.0%	15
	H29	6.0	法人	6.0	法人	100.0%	点数
	H30	7.0	法人	6.0	法人	85.7%	12.86
	H31	7.0	法人	6.0	法人	85.7%	
H32	8.0	法人	#N/A	法人	#N/A		
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数		
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)	
	35.71点 /50点	12.50点 /15点	12.86点 /15点	6.41点 /10点	6.09点 /10点		73.57点 /100点

# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針1地域で支え合う健康と福祉のまち			基本計画 担当及び	K P I ①担当課 健康福祉課	
	基本計画	4.高齢者福祉の推進			K P I ②担当課 健康福祉課	健康福祉課	
目的	高齢者が住み慣れた地域で、安心して元気に暮らし続けることのできるように、保健・福祉・医療の環境を整える。						
P D C A ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	総合的な高齢者福祉対策の推進	健康福祉課	計画調書通り取り組んでいる	100	85.0	
	取組内容	平成29年度に3年間(平成30年度から令和2年度)の「第7期邑楽町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定しました。「邑楽町高齢者保健福祉計画」に基づき、地域包括支援センターを中心に高齢者の、保健・福祉・医療の向上に努めています。					
	(2)	介護予防の推進	健康福祉課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数	
	取組内容	運動指導士による運動指導など介護予防の指導・助言をした「ますます元気教室」や、スポーツクラブを活用した「筋力トレーニング教室」などを行いました。行政区サロン等に講師を派遣し、介護予防についての周知に取組みました。					
	(3)	生きがい対策の推進	健康福祉課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	高齢者の生きがいと就業機会の提供を目的としており、公共の公園等管理や民間の植木剪定や除草などを行っている。家に閉じこもりがちな高齢者の生きがいを創出するための生きがい活動通所支援事業として、町内2つの団体に委託しました。					
	(4)	高齢者福祉施設整備の推進	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	福祉センター寿荘については、昭和56年3月完成から40年近く経過し、今までに雨漏りやボイラーの修繕等を行ってきましたが、31年度については、修繕が必要な故障等はなく、福祉センター寿荘の修繕等はありませんでした。					
(5)	地域支援事業の充実	健康福祉課	計画調書通り取り組んでいる	100	42.50		
取組内容	緊急通報装置などの周知や、安否確認を兼ねた配食など福祉サービスの充実を行いました。地域包括支援センターでは高齢者に対する総合的な相談や支援、権利擁護研修会を行いました。また、後見人制度の町長申立を行うなど権利擁護の援助に努めました。認知症の方やその家族等が集える場所としてオレンジカフェを町内に2カ所配置しました。認知症サポーター養成講座を小中学生や一般向けに夜に行うなど認知症の方やその家族を見守る環境作りに努めました。						
(6)							
(7)							
目標① ( D )	KPI	高齢者活力センター登録者数				達成率	
	H32	200.0		単位	人	66.1%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	130.0	人	126.0	人	96.9%	
	H29	140.0	人	117.0	人	83.6%	
	H30	160.0	人	113.0	人	70.6%	
	H31	180.0	人	119.0	人	66.1%	
H32	200.0	人		人	#N/A		
9.92							
目標② ( D )	KPI	生きがい活動通所事業所数				達成率	
	H32	3.0		単位	か所	66.7%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	2.0	か所	2.0	か所	100.0%	
	H29	2.0	か所	2.0	か所	100.0%	
	H30	2.0	か所	2.0	か所	100.0%	
	H31	3.0	か所	2.0	か所	66.7%	
H32	3.0	か所		か所	#N/A		
10.00							
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】若年会員の獲得を目指して、会員の拡大を図ったが、十分な成果が出せなかった。 【KPI②】継続的な運営ができるようにどのような支援ができるかが課題であった。			課題の捉え方	点数		
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】事業について、広く住民に周知するとともに、会員拡大を図るため、社協だよりやホームページ等を活用していく。また、邑多福まつり等に参加して、啓発を図る。既存会員に対して、事故防止と健康維持に取組み離脱防止に努めていく。 【KPI②】事業運営が継続的にできる体制づくりを進めていく。			解決・改善の捉え方	点数		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)	
	42.50点 /50点	9.92点 /15点	10.00点 /15点	5.47点 /10点	6.09点 /10点		73.98点 /100点

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針1地域で支え合う健康と福祉のまち		基本計画 K P I ①担当課	健康福祉課		
	基本計画	5.障がい者福祉の充実		担当及び K P I ②担当課			
目的	障がいを持つ人が、地域のなかで安心して自立した生活を送り、社会活動に参加できる環境を整える。						
P D C A  ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	保健・医療の充実	健康福祉課	取組状況 概ね計画調書通り取り組んでいる	進捗 75	進捗平均 70.0	
	取組内容	障がい者やその家族が在宅サービスを利用できるように、また、選択肢の幅が広がるように他職種の関係機関が連携したケース検討会議等を実施しました。					
	(2)	福祉サービスの充実	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度心身障害者(児)や高齢重度障害者の生活が安定するようなサービスを実施しました。</li> <li>・重度心身障害者(児)や高齢重度障害者の生活環境が改善するようなサービスを実施しました。</li> <li>・福祉タクシー使用料補助事業の拡充に向けて研究しました。</li> </ul>					
	(3)	広報活動の推進とボランティア活動の支援	健康福祉課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動の推進とボランティア活動の支援については、社会福祉協議会で実施しました。(広報誌やパンフレット等により広報、啓発及びボランティア体験の機会の提供)</li> </ul>					
	(4)	社会参加の促進	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の早期発見、早期対応のための助言等の支援に努めました。</li> <li>・障害者雇用、スポーツ、レクリエーション及び文化活動の促進については、社会福祉協議会で実施しました。</li> <li>・障害者優先調達法に基づき、邑楽町障害者就労施設等からの物品等の調達方針を定めました。</li> </ul>					
	(5)	社会環境の整備	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	35.00	
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(じん臓機能障害者等を含む)障害者や高齢者等に対して、交通費を助成しました。</li> </ul>						
(6)							
(7)							
取組内容							
目 標 ① ( D )	KPI	就労移行支援(毎月の実利用人数)				達成率	
	H32	7.0		単位	人	50.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	5.0	人	1.8	人	36.0%	30
	H29	5.0	人	1.6	人	32.0%	15.00
	H30	6.0	人	2.2	人	36.7%	
	H31	6.0	人	3.0	人	50.0%	
H32	7.0	人		人	#N/A		
目 標 ② ( D )	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					100.0%	—
	H29					50.0%	—
	H30					0.0%	
	H31					0.0%	
H32					0.0%		
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数		
	<p>【KPI①】本人の状態によって就労移行支援の利用が困難になったり、就労継続支援に移行する事例があった。また、就労継続支援から障害者雇用に結びついた事例もあった。潜在化している社会参加を拒否し孤立している者等については、掘り起こしを図る必要がある。</p>			A~Eの5段階評価 A10点 3 B7.5点 9 C 5点 4 D2.5点 0 E 0点 0	7.34		
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数		
	<p>【KPI①】本人の状態や状況を確認し、無理のない支援計画の元にサービス利用を開始するとともに、特別支援学校、高等特別支援学校及び相談支援事業所との連携を緊密にとることで、利用者の増加を図る。本人やその家族に就労移行支援等の障害福祉サービスの支援があることをホームページや広報誌等により周知し、利用促進を図る。</p>			A~Eの5段階評価 A10点 1 B7.5点 12 C 5点 3 D2.5点 0 E 0点 0	7.19		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 64.53点 /100点	
	35.00点 /50点	15.00点 /30点	— 一点	7.34点 /10点	7.19点 /10点		



令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり																												
	基本方針	基本方針1地域で支え合う健康と福祉のまち		基本計画 K P I ①担当課 担当及び K P I ②担当課	住民課 住民課																									
	基本計画	6. 社会保障制度の健全な運営																												
目的	社会保障制度を健全かつ適正に運用し、町民誰もが生涯、安心して自立した生活を維持できる環境を整える。																													
P D C A ( P D )	PLAN		DO																											
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均																								
	(1)	国民健康保険の健全な運用	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	85.0																								
	取組内容	第2期データヘルス計画(平成30年～令和5年)策定時に把握した町の健康課題に即した保健事業を展開した。課題のレベルに合わせ、健康結果異常値放置者対策、重症化手前の者への早期介入など広範囲な事業展開を行った。糖尿病性腎臓病重症化予防事業実施要領を作成し、館林市邑楽郡医師会管内1市5町で連携して事業展開を行った。																												
	(2)	国民年金制度の充実	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数																								
	取組内容	国民年金への加入手続き及び保険料の免除、納付の猶予などの諸手続きについて、年金事務所と協力連携をとりながら的確に行うことができた。また、制度の普及を推進するため、「広報おうら」に必要な情報を掲載した。																												
	(3)	生活困窮者の自立へ向けた支援の充実	健康福祉課	計画調書通り取り組んでいる	100	50%																								
	取組内容	県や社会福祉協議会等と連携を図り、生活や就労の相談助言指導を行い、自立にむけての支援を行った。																												
	(4)	後期高齢者医療制度の適正な運営	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数																								
	取組内容	制度周知として、低所得者層への入院時の食事代を軽減できる「限度額適用・標準負担額減額認定証」の勧奨および現役並み所得者層への「限度額適用認定証」の勧奨を継続して行った。また、国保・後期・介護一体となった保健事業を実施するための試行運用を行った。																												
(5)	介護保険制度の適正な運営	健康福祉課	計画調書通り取り組んでいる	100	42.50																									
取組内容	介護保険サービスの適正な利用促進のため、広報紙やホームページ等を活用し、情報提供に努めた。サービス提供事業者へ適切なサービス提供が行われるように助言指導を行った。																													
(6)																														
取組内容																														
(7)																														
取組内容																														
目標① ( D )	KPI	特定健診受診率(国民健康保険)				<p>集計時期の関係で、成果数値は前年度実績値となります</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標</th> <th>成果</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>54.5%</td> <td>56.8%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>56.0%</td> <td>57.1%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>57.5%</td> <td>56.4%</td> <td>98.1%</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>59.0%</td> <td>57.1%</td> <td>96.8%</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>60.0%</td> <td>#N/A</td> <td>#N/A</td> </tr> </tbody> </table>	年度	指標	成果	達成率	H28	54.5%	56.8%	100.0%	H29	56.0%	57.1%	100.0%	H30	57.5%	56.4%	98.1%	H31	59.0%	57.1%	96.8%	H32	60.0%	#N/A	#N/A
	年度	指標	成果	達成率																										
	H28	54.5%	56.8%	100.0%																										
	H29	56.0%	57.1%	100.0%																										
	H30	57.5%	56.4%	98.1%																										
	H31	59.0%	57.1%	96.8%																										
	H32	60.0%	#N/A	#N/A																										
H32	60.0	単位	%	達成率																										
年度	指標	成果	達成率																											
H28	54.5	%	56.8	%																										
H29	56.0	%	57.1	%																										
H30	57.5	%	56.4	%																										
H31	59.0	%	57.1	%																										
H32	60.0	%	#N/A	%																										
目標② ( D )	KPI	特定健診受診率(後期高齢者医療保険)				<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標</th> <th>成果</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>48.0%</td> <td>46.9%</td> <td>97.7%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>51.0%</td> <td>43.4%</td> <td>85.1%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>54.0%</td> <td>44.9%</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>57.0%</td> <td>44.4%</td> <td>77.9%</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>60.0%</td> <td>#N/A</td> <td>#N/A</td> </tr> </tbody> </table>	年度	指標	成果	達成率	H28	48.0%	46.9%	97.7%	H29	51.0%	43.4%	85.1%	H30	54.0%	44.9%	83.1%	H31	57.0%	44.4%	77.9%	H32	60.0%	#N/A	#N/A
	年度	指標	成果	達成率																										
	H28	48.0%	46.9%	97.7%																										
	H29	51.0%	43.4%	85.1%																										
	H30	54.0%	44.9%	83.1%																										
	H31	57.0%	44.4%	77.9%																										
	H32	60.0%	#N/A	#N/A																										
H32	60.0	単位	%	達成率																										
年度	指標	成果	達成率																											
H28	48.0	%	46.9	%																										
H29	51.0	%	43.4	%																										
H30	54.0	%	44.9	%																										
H31	57.0	%	44.4	%																										
H32	60.0	%	#N/A	%																										
分析 ( C )	CHECK		策定委員会評価欄																											
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。		課題の捉え方	点数																										
	【KPI①②の内容含む】 目標①は受診率の向上が見られたが、指標の向上に及ばず結果は達成率の低下となってしまった。法定報告確定時期の都合で、目標①は前年度(H30)、目標②は当年度(R1)の受診率を使用。		A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.09																										
改善 ( A )	ACTION		策定委員会評価欄																											
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。		解決・改善の捉え方	点数																										
	【KPI①②の内容含む】 次年度は、健診未受診者への受診勧奨を強化し、受診率の向上を目指す。		A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.25																										
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≒	総合評価(点数)																							
	42.50点 /50点	14.52点 /15点	11.68点 /15点	6.09点 /10点	6.25点 /10点		81.04点 /100点																							

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針2安心して子どもを産み育てられるまち		基本計画 K P I ①担当課	健康福祉課		
	基本計画	7.子育て支援の充実		担当及び K P I ②担当課			
目的	家庭や地域において、安心して子どもを産み育てることのできる環境を整える。						
P D C A ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	安心して出産できる支援の充実	健康福祉課	計画調書通り取り組んでいる	100	90.0	
	取組内容	母子健康手帳交付時、妊婦の経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査受診票14回分と新生児聴覚検査及び産婦健診受診票を交付しました。また、母親同士の仲間づくりと父親の育児参加を目的とした両親学級を開催しました。産後の育児不安や母乳栄養に関する悩みを軽減するため、産後ケア事業を実施し支援の充実を図りました。妊娠期から子育て期までの総合相談窓口として、子育て世代包括支援センター開設に向けての準備をすすめました。					
	(2)	子育て環境の充実	子ども支援課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	幼児教育・保育の無償化事業により、保育料の無償化を行った。また、町立園については給食費の完全無償化を行い、町立以外の園についても4,500円/月人を上限に助成事業を行った。保育園等の延長保育や幼稚園等における預かり保育など保育ニーズの対応を継続して行った。保育資質向上のための研修や保育士の確保に努めた。					
	(3)	放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実	子ども支援課(生涯)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	放課後児童クラブでは、運営状況調査を行った。また、公営施設では、長期休暇中に早朝の開館時間を30分早めることにより利用者ニーズへの対応を行った。					
	(4)	地域ぐるみの子育て支援の推進	子ども支援課(健福)	計画調書通り取り組んでいる	100	点数	
	取組内容	育児に関する情報の提供や交流の場である地域子育て支援センターや身近な場所で子育て支援の情報提供などを行う利用者支援事業の継続実施。ファミリー・サポート・センターを年間を通じて開所し、会員講習会を実施して会員の確保に努めた。					
(5)	子ども医療制度の充実	住民課	計画調書通り取り組んでいる	100	45.00		
取組内容	中学生までの医療費無料化に加え、町単独事業として平成28年4月診療分から高校生世代の入院のみ無料化を開始し、継続した。						
(6)							
(7)							
目 標 ① ( D )	KPI	合計特殊出生率				<p>集計時期の関係で、成果数値は前年度実績値となります</p>	達成率
	H32	1.3		単位	人		79.4%
	年度	指標		成果	達成率		×係数
	H28	1.25	人	1.19	人		95.2%
	H29	1.27	人	1.28	人		100.0%
	H30	1.29	人	1.21	人		93.8%
	H31	1.31	人	1.04	人		79.4%
H32	1.33	人		人	#N/A		
目 標 ② ( D )	KPI						達成率
	H32			単位			—
	年度	指標		成果	達成率		×係数
	H28						#N/A
	H29						#N/A
	H30						#N/A
	H31						#N/A
H32					#N/A		
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	<p>目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。</p> <p>【KPI①】子育て世代包括支援センター開設に向けての準備が順調に進んだので、対象者への内容の周知が必要です。また、妊娠中や子育て中のかたが複数の機関(役場の複数の窓口)を転々とするのは負担が大きいです。さらに窓口を一本化させて相談しやすい環境整備が必要です。</p>			課題の捉え方	点数		
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	<p>来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。</p> <p>【KPI①】子育て世代包括支援センター開設により、リーフレットやポスターを作成し周知を図ります。地域の子育てに関する必要なサービスや情報を1か所で案内できるよう努めます。また、利用できるサービスや支援、セルフケアなどをいっしょに考え、個別の支援プランを作成します。</p>			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)	
	45.00点 /50点	23.82点 /30点	— 一点	7.19点 /10点	6.88点 /10点		82.89点 /100点



# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり				
	基本方針	基本方針2安心して子どもを産み育てられるまち		基本計画 KPI①担当課	子ども支援課	
	基本計画	8.ひとり親福祉の充実		担当及び	KPI②担当課	
目的	ひとり親家庭が自立して、安定した生活を送ることができる環境を整える。					
P D C A  ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO			
	(1)	就業支援の充実	子ども支援課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	進捗平均
	取組内容	児童扶養手当現況届時や新規申請、生活相談において母子家庭等就業・自立支援センター作成のリーフレットを活用し情報提供を行ったり、ハローワーク館林と連絡を取り、就業相談に行きやすい環境を作った。また、児童扶養手当現況届時には、群馬県母子寡婦福祉協議会による就業などの相談コーナーを設置した。			75.0	
	(2)	相談体制の充実	子ども支援課(健福)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	民生委員・児童委員と連携を図り、その状況に応じて相談に適切に対応できるように努めた。				
	(3)	生活支援の充実	子ども支援課(住民・福祉)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%
	取組内容	児童扶養手当などホームページによる手続き等の情報提供や、窓口の手続きにおいて詳細な説明に努め適正な事務処理を実施。母子・父子家庭福祉医療については、所得制限を設けず医療給付が受けられるよう負担軽減を実施。また、入学進学支度金支給や町営住宅入居希望者について特例制度による優遇抽選も継続実施。				
	(4)					点数
	取組内容					
	(5)					37.50
取組内容						
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目 標 ① ( D )	KPI	福祉医療費受給者のうち所得税課税対象者の割合				達成率
	H32	32.0		単位	%	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	30.4	%	32.4	%	100.0%
	H29	30.8	%	34.2	%	100.0%
	H30	31.2	%	35.3	%	100.0%
	H31	31.6	%	34.8	%	100.0%
H32	32.0	%		%	#N/A	
目 標 ② ( D )	KPI					達成率
	H32			単位		—
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28					100.0%
	H29					50.0%
	H30					0.0%
	H31					0.0%
H32					0.0%	
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数	
	【KPI①】就労相談、就労支援を利用する人が少なかった。			A~Eの5段階評価 A10点 1 B7.5点 7 C 5点 5 D2.5点 3 E 0点 0	5.94	
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①】県の母子家庭等就労・自立支援センター及びハローワーク館林と連携を図り、より相談しやすい環境づくりをする。			A~Eの5段階評価 A10点 1 B7.5点 8 C 5点 6 D2.5点 1 E 0点 0	6.41	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 79.85点 /100点
	37.50点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	5.94点 /10点	6.41点 /10点	

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり				
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち			基本計画 K P I ①担当課	安全安心課
	基本計画	9.消防力と救急体制の充実			担当及び K P I ②担当課	安全安心課
目的	町民の生命、財産を守るために、消防及び救急・救助の体制を整える。					
P D C A ( P D )	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	火災予防の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0
	取組内容	消防署、消防団による秋季点検や歳末警戒、防火ポスター及び習字の展示、啓発資料の配布等により火災予防の普及及び啓発に努めた。				
	(2)	消防力の充実・強化	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	消防団ポンプ車の計画に沿った更新を行うとともに、轄地内の消防団詰所1棟の建替えを行い、消防設備の充実を図った。また、今後10年間の常備及び非常備消防資機材の更新計画を策定し、今後の消防力の充実への体制作りに努めた。さらに、地域の防災訓練へ消防署員及び消防団員が参加するなど、自主防災組織との連携も強化できた。				
	(3)	救急・救助体制の整備	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%
	取組内容	学校や各種団体が主催する普通救命及び応急救護講習へ署員を指導員として派遣した他、町総合防災訓練や地区防災訓練の場でも同様の講習を行い、町民による応急救護体制の強化を図った。				
	(4)					点数
	取組内容					
(5)					37.50	
取組内容						
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① ( D )	KPI	公共施設のAEDの設置数				達成率
	H32	23.0		単位	か所	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	21.0	か所	21.0	か所	100.0%
	H29	21.0	か所	25.0	か所	100.0%
	H30	22.0	か所	23.0	か所	100.0%
	H31	22.0	か所	25.0	か所	100.0%
H32	23.0	か所		か所	#N/A	
						15
						15.00
目標② ( D )	KPI	住宅用火災警報器の普及率				達成率
	H32	80.0		単位	%	71.6%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	63.0	%	59.0	%	93.7%
	H29	67.0	%	56.4	%	84.2%
	H30	71.0	%	55.1	%	77.6%
	H31	75.0	%	53.7	%	71.6%
H32	80.0	%		%	#N/A	
						15
						10.74
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】AEDの設置数については、すべての公共施設への設置が終了し、最終目標を達成することができた。 【KPI②】住宅用火災警報器については、設置が義務化されたものの罰則規定がないため、特に既存住宅への設置が進まない。			課題の捉え方	点数	
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 今後も消防署と連携し、啓発活動を行うことで更なる普及に努めていく。			解決・改善の捉え方	点数	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 77.3点 /100点
	37.50点 /50点	15.00点 /15点	10.74点 /15点	7.34点 /10点	6.72点 /10点	

# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり				
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち		基本計画 K P I ①担当課	安全安心課	
	基本計画	10.防犯対策の推進		担当及び K P I ②担当課	安全安心課	
目的	町民の生命、財産を守り、安全で安心して暮らせる地域社会とするために、犯罪や非行を防止する体制や環境を整える。					
P D C A  ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO			
	(1)	防犯意識の啓発	担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	取組内容	警察等の関係機関と連携の上、大型ショッピングセンターでの街頭防犯啓発活動、防犯講座の開催、地域での見回り活動への協力、啓発品の頒布などを通じて、特殊詐欺被害の防止や地域での犯罪抑止を呼び掛けた。			75	75.0
	(2)	防犯体制の充実	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	警察等の関係機関と連携の上、情報を覚知した際には速やかにおうらお知らせメールや防災行政無線による防犯・不審者情報の提供を行い、町民への注意喚起を行った。また、安全安心まちづくり推進協議会主催の防犯講座の開催ややまびこ運動の実施等を通じ、防犯体制の充実に努めた。			75	50%
	(3)	防犯活動の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%
	取組内容	PTAや自治会、青少年育成推進員連絡協議会を中心に、登下校時の見守り活動や夜間パトロールを積極的に実施した。また、自治会による防犯パトロール推進のため、防犯用ベスト及び帽子の提供を行った。			75	点数
	(4)	犯罪や非行を防止する環境整備の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0
	取組内容	昨年度の本中野駅前駐輪場に続き、篠塚駅前駐輪場設置の防犯カメラ更新を行うとともに、自治会等からの要望を参考に、必要箇所への防犯灯の設置を進め、犯罪抑止に努めた。また、簡易設置型の防犯カメラを3台導入し、必要に応じて貸出しを行う体制を整えた。			75	37.50
	(5)					
取組内容						
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① ( D )	KPI	防犯灯設置基数				達成率
	H32	2000.0		単位	基	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	1900.0	基	1926.0	基	100.0%
	H29	1925.0	基	1949.0	基	100.0%
	H30	1950.0	基	1973.0	基	100.0%
	H31	1975.0	基	1996.0	基	100.0%
H32	2000.0	基		基	#N/A	
						達成率
						100.0%
						×係数
						15
						点数
						15.00
目標② ( D )	KPI	刑法犯認知件数				達成率
	H32	140.0		単位	件	64.5%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	168.0	件	140.0	件	100.0%
	H29	161.0	件	145.0	件	100.0%
	H30	154.0	件	159.0	件	100.0%
	H31	147.0	件	158.0	件	64.5%
H32	140.0	件		件	#N/A	
						達成率
						64.5%
						×係数
						15
						点数
						9.68
分析 ( C )	CHECK				策定委員会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数
	【KPI①②の内容含む】 刑法犯認知件数が緩やかにではあるものの増加傾向に転じつつあり、中でも従来型の犯罪に加え、特殊詐欺被害や女性や子ども等の社会的弱者が被害者となる犯罪が増えつつある。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 1 E0点 0	7.34
改善 ( A )	ACTION				策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数
	【KPI①②の内容含む】 自治会による見守り活動や声かけ運動等の地域のつながりを強化することにより、犯罪を実行しにくい地域社会の構築を引き続き推進する。また、特殊詐欺対策機器購入費補助制度の周知及び活用を促進することで、特殊詐欺被害を未然に防ぐ取組を推進する。さらに防犯カメラ設置について、問題点や活用方法を含め、引き続き調査・研究を進める。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 8 C5点 D2.5点 0 E0点 0	7.81
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)
	37.50点 /50点	15.00点 /15点	9.68点 /15点	7.34点 /10点	7.81点 /10点	



# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり						
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち			基本計画	KPI①担当課 総務課		
	基本計画	11.危機管理体制の整備			担当及び	KPI②担当課 安全安心課		
目的	台風や豪雨及び地震などの災害から町民の生命、財産を守るため、災害予防や被害抑制を図り、発災時に迅速かつ的確に対応できる体制を整える。							
PDCA (P/D)	PLAN 施策の方向性			DO				
	(1)	地域の防災力の向上		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
		取組内容		安全安心課	概ね計画通り取り組んでいる	75	75.0	
	公共施設の耐震化についてはすべて終了している。また地域の防災訓練については、少しずつではあるものの防災訓練を実施する自主防災組織は増加しており、消火訓練や救出・応急救護訓練、AEDの操作方法等を積極的に学ぶ場となっている。さらには総合防災訓練を開催するとともに、自治会や各種団体等の要請に応じて防災講話等への職員派遣を行い、町民の防災意識向上に努めた。							
	(2)	災害応急体制の整備		安全安心課	概ね計画通り取り組んでいる	75	×係数	
		取組内容		関係機関と連携し、公共施設や生活拠点におけるテロ対策訓練や、台風などの災害発生後における統括等、各種訓練や研修等を通じて関係機関との連携の強化を図るとともに、新たに邑楽中学校及び町民体育館敷地へ防災倉庫を設置し、災害応急体制の整備を図った。				
	(3)	防災関連計画の策定		安全安心課	概ね計画通り取り組んでいる	75	50%	
		取組内容		邑楽町地域防災計画について、施設名称等の更新を行うとともに、防災マップについて、更なる周知を図った。また、避難所におけるペットの同行避難について情報収集や検討を行い、次年度の計画策定に向けた準備を行った。				
	(4)						37.50	
		取組内容						
(5)								
	取組内容							
(6)								
	取組内容							
(7)								
	取組内容							
目標① (D)	KPI	公共施設の耐震化率					達成率	
	H32	100.0		単位	%		100.0%	
	年度	指標		成果			達成率	×係数
	H28	98.0	%	98.3	%		100.0%	15
	H29	98.0	%	100.0	%		100.0%	点数
	H30	98.0	%	100.0	%		100.0%	15.00
	H31	98.0	%	100.0	%		100.0%	
H32	100.0	%	#N/A	%	#N/A			
目標② (D)	KPI	自主防災組織における防災訓練実施率					達成率	
	H32	30.0		単位	%		58.8%	
	年度	指標		成果			達成率	×係数
	H28	10.0	%	11.8	%		100.0%	15
	H29	15.0	%	11.8	%		78.7%	点数
	H30	20.0	%	14.7	%		73.5%	8.82
	H31	25.0	%	14.7	%		58.8%	
H32	30.0	%	#N/A	%	#N/A			
分析 (C)	CHECK					策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。					課題の捉え方	点数	
	【KPI①】躯体については、すべての公共施設において耐震基準を満たしている。 【KPI②】自主防災組織の防災訓練実施率については微増の状態であり、更なる実施組織の拡大が課題である。 ・災害対応については、関係機関との連携及び計画等の策定は進んできていると考えるが、実際に大きな災害に見舞われた経験がないことから、ソフト面において不安がある。					A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.81	
改善 (A)	ACTION					策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。					解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①】躯体以外の部分について、耐震関係上危険な箇所(ロッカー、家具、ガラス等)などを、施設管理者とともに家具の固定を行うなど、2次被害の削減に引き続き努めていく。 【KPI②】公共施設の耐震化が終了したことから、家具や窓等の付属物に対する備えや、物品の保存方法などについて職員に対する啓発を進めていきたい。 ・自主防災組織における防災訓練実施については、組織の事情等考慮しなければならない部分もあるが、町や消防が持つ実施手法の提供や期限切れの近い災害備蓄品の有効活用などによる推進を図っていきたい。 ・職員向けの机上演習の実施等、担当職員が持つ知識及び経験を全職員の共通認識とする取組みを検討していきたい。					A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.34	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≒	総合評価(点数)	
	37.50点 /50点	15.00点 /15点	8.82点 /15点	7.81点 /10点	7.34点 /10点		76.47点 /100点	

# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち		基本計画 KPI①担当課	安全安心課		
	基本計画	_12交通安全対策の推進		担当及び KPI②担当課	安全安心課		
目的	交通事故から町民の尊い命を守るため、人々が安全な環境で安全な行動をする社会を実現する。						
P D C A  ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	交通安全意識の高揚	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0	
	取組内容	四半期ごとの交通安全運動期間を中心に、交通指導車による巡回指導及びポスターや懸垂幕の掲示、関係機関と連携した街頭指導等を実施し、交通安全意識の向上を図った。					
	(2)	交通安全対策の強化	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	各幼稚園や保育園、認定こども園、小学校にて、道路の歩き方、渡り方、自転車の乗り方等の交通教室を実施し、交通ルールの周知やマナーの向上を図った。また、毎月1日を原則として交通指導員による街頭指導を実施し、通学路における交通事故防止に努めた。					
	(3)	安全な交通環境の整備	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	通学路安全会議での検討や行政区からの要望等を基に、道路反射鏡や路面標示、ポールコーン等交通安全施設の新設及び維持補修を実施し、交通環境の改善に努めた。					
	(4)					点数	
	取組内容						
(5)					37.50		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ①  ( D )	KPI	交通事故による年間の24時間以内の死者数				現況値を基準に3人0%2人33%1人66%0人100%の4段階評価とする	達成率
	H32	0.0		単位	人	(人)	66.7%
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28	0.0	人	1.0	人	66.7%	15
	H29	0.0	人	1.0	人	66.7%	点数
	H30	0.0	人	0.0	人	100.0%	10.00
	H31	0.0	人	1.0	人	66.7%	
	H32	0.0	人		人	#N/A	
目 標 ②  ( D )	KPI	グリーンベルト延長					達成率
	H32	20.0		単位	Km	(Km)	100.0%
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28	16.0	Km	18.2	Km	100.0%	15
	H29	17.0	Km	19.2	Km	100.0%	点数
	H30	18.0	Km	20.7	Km	100.0%	15.00
	H31	19.0	Km	21.8	Km	100.0%	
	H32	20.0	Km		Km	#N/A	
分 析  ( C )	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
	【KPI①】交通事故による年間24時間以内死者数については、町内在住者ではなかったものの、町内における交通事故により1名の方が亡くなってしまった。 【KPI②】グリーンベルト総延長については最終目標を達成したが、引き続き必要な箇所への新設及び既設のものの維持補修を実施する。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 3 E0点 0	6.72	
改 善  ( A )	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①】交通事故による年間24時間以内死者数については、引き続き交通安全・マナーの啓発活動を地道に行うことで、交通事故により不幸な結果となる方を一人でも減少させるべく事業を推進する。また、事故後の関係機関との検証において、当該事故を受けての安全対策の実施は不要との結論が出ている。 【KPI②】グリーンベルトの総延長については目標を達成したが、交通安全施設すべてについて、今後も適切な設置と維持補修を図っていく。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 1 E0点 0	7.34	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)	
	37.50点 /50点	10.00点 /15点	15.00点 /15点	6.72点 /10点	7.34点 /10点		76.56点 /100点

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち		基本計画 K P I ①担当課	商工振興課		
	基本計画	13.消費者の安全対策の推進		担当及び K P I ②担当課			
目的	町民の利益を守ることで、安心して安全で豊かな消費生活を営むことができる町とする。						
P D C A ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	消費者の権利の尊重と自立の支援	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0	
	取組内容	相談者の状況に応じて助言やあっせん(事業者との間に入って妥当な解決に向けて交渉する)を迅速かつ適切に行うことができた。また、国民生活センター、日本消費者協会、県消費生活センター等で行われる研修会に積極的に参加し、相談対応のスキルを高めた。					
	(2)	消費者の意識と知識の向上	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	地域に向向いて行っている出前講座等を通して、悪質商法や特殊詐欺の手口等の最新情報を提供し、被害の未然防止に積極的に努めた。また、産業祭を始めとしたイベント時の会場で啓発活動を行った。					
	(3)	情報提供の推進	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	広報紙、回覧、お知らせメール、ツイッター、リーフレット等を活用し、消費者への注意喚起に努めた。また、消費者トラブルの対策に役立つ「くらしの豆知識」を邑楽町オリジナルデザインで作成し、新成人や民生委員へ配布し、消費者教育の啓発活動に活用した。					
	(4)					点数	
	取組内容						
(5)					37.50		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① ( D )	KPI	消費者講座などへの参加者数				達成率	
	H32	2500.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	2400.0	人	3241.0	人	100.0%	30
	H29	2420.0	人	2866.0	人	100.0%	点数
	H30	2440.0	人	2940.0	人	100.0%	30.00
	H31	2470.0	人	4084.0	人	100.0%	
H32	2500.0	人		人	#N/A		
目標② ( D )	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					100.0%	—
	H29					50.0%	—
	H30					0.0%	—
	H31					0.0%	—
H32					0.0%	—	
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】60歳以上の高齢者の相談件数に占める割合は依然高いことから出前講座等を通して、悪質な手口等の情報提供を積極的に進めていくことや、他の課と連携し見守りを強化する必要がある。また、民法改正に伴う成年年齢の引き下げ等の影響で、若年者の消費者トラブル事案も急増することが危惧される。			課題の捉え方	点数		
A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 1 E0点 0					7.97		
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】情報社会の急速な進展による多様で複雑な相談内容に対応するため、最新の知見を相談員が学ぶことは必須であり、出前講座等を通じた高齢者への啓発や、見守り活動も重要である。また、学校教育担当部署と連携した学校等への出前講座も今後必要であるとする。			解決・改善の捉え方	点数		
A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 11 C5点 D2.5点 0 E0点 0					7.66		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 83.13点 /100点	
	37.50点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.97点 /10点	7.66点 /10点		



# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち	基本計画	K P I ①担当課	住民課		
	基本計画	14.相談事業の拡充	担当及び	K P I ②担当課	住民課		
目的	町民の生活上の様々な不安や悩みについて不安解消や問題解決が図れる環境を整える。						
P D C A  ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	法律相談事業の推進	住民課	計画調書通り取り組んでいる	100	83.3	
	取組内容	弁護士による定例の法律相談については、相談時間などの実施方法を検討しながら月1回実施し、加えて群馬弁護士会による無料法律相談も10月に実施した。また、女性特有の相談(離婚・DV等)に対して女性の相談者が相談しやすい場を提供するため、大泉町・千代田町・邑楽町3町合同で女性弁護士による法律相談を月1回実施した。					
	(2)	住民相談事業の推進	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	人権相談・行政相談については、人権相談員4名、行政相談員1名により、月1回幅広く相談事業を実施している。また、電話や来庁での相談については、関係機関とも連携を図りながら、町民が安心して相談できる環境を整えた。					
	(3)	相談事業の周知	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	相談事業推進のため、広報紙やホームページ等を活用し、定例相談事業の周知を実施した。					
	(4)					点数	
	取組内容						
(5)					41.67		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① ( D )	KPI	法律相談開催数				<p>H29は、3町合同で女性専用相談会を10月から半年実施+0.5回</p> <p>(回) 指標 成果 達成率</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	
	H32	2.0	単位	回	達成率		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	2.0	回	1.0	回		50.0%
	H29	2.0	回	1.5	回		75.0%
	H30	2.0	回	2.0	回		100.0%
	H31	2.0	回	2.0	回		100.0%
H32	2.0	回		回	#N/A		
目 標 ② ( D )	KPI	人権行政相談開催数				<p>(回) 指標 成果 達成率</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	
	H32	2.0	単位	回	達成率		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	2.0	回	1.0	回		50.0%
	H29	2.0	回	1.0	回		50.0%
	H30	2.0	回	1.0	回		50.0%
	H31	2.0	回	1.0	回		50.0%
H32	2.0	回		回	#N/A		
分 析 ( C )	CHECK		策定委員会評価欄				
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。		課題の捉え方	点数			
	<p>【KPI①】定例法律相談や女性のための法律相談については、広報やホームページ等での啓発により町民にも周知されたため、多くの町民が利用している。平成31年度の定例法律相談件数は74件、女性のための法律相談は77件でした。</p> <p>【KPI②】人権・行政相談については相談件数があまり伸びないため、事業内容や開催回数等について検討する必要がある。平成31年度相談件数は7件でした。</p>		A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 9 C5点 D2.5点 0 E0点 0	7.03			
改 善 ( A )	ACTION		策定委員会評価欄				
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。		解決・改善の捉え方	点数			
	<p>【KPI①】法律相談については、今後も定例相談と女性のための相談を月2回行うことにより、相談体制の充実を図る。</p> <p>【KPI②】人権・行政相談については、広報やホームページ等で事業内容の紹介をするなど、事業内容を周知すると共に、開催回数については各相談委員と協議をした上で前向きに検討する。</p>		A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 12 C5点 D2.5点 0 E0点 0	6.88			
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≒	総合評価(点数)
	41.67点 /50点	15.00点 /15点	7.50点 /15点	7.03点 /10点	6.88点 /10点		78.08点 /100点

# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針4活力ある産業を育み働きやすいまち		基本計画 K P I ①担当課	農業振興課		
	基本計画	15 農業の振興		担当及び	K P I ②担当課		
目的	農業の持つ多面的機能の保全・活用を進め、産業として自立できる農業経営の安定を確立する。						
P D C A ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	担い手の育成	農業振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	65.0	
	取組内容	農業経営の発展を積極的に図ろうとする農業者に働きかけを行い、12名の新しい認定農業者が誕生し、既認定農業者については、更新時に再認定の働きかけを行った。また、個別の営農形態から法人への転換を働きかけ、新たに1法人が誕生した。現在活動している邑楽町農業青年会議の活動を支援するとともに、若手農業者の情報交換や交流の場の提供に努めた。また、認定農業者協議会の研修会や会員相互の交流等を支援し、地域農業の更なる発展を推進した。					
	(2)	持続可能な農業経営の確立	農業振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	総合農政推進資金、農業近代化資金の融資に対し、利子補給を行い、農業制度資金の融通の円滑化と農業経営の安定を支援した。昨年に引き続き、新たな認定農業者の認定や再認定の積極的な働きかけを行うなど、地域の中心となる経営体の育成・確保を推進した。地域農業を守っていくための人・農地プランの実質化に向け、アンケート調査とその内容を反映した地図の作成を行った。					
	(3)	農産物のブランド化と6次産業化の推進	農業振興課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	地方創生加速化交付金の活用により、平成29年度よりあいあいセンターにて毎週水曜日に「農村レストラン」を開店している。地元農産物利用の料理を提供し、新メニューなどの工夫により売上も順調に伸びている。農産物のブランド化については、県やJAの助言をもとに、おうらブランドを付与するのに適当な農産物を検討中である。					
	(4)	地産地消やグリーンツーリズムの推進	農業振興課	一部取り組んでいる	50	点数	
取組内容	学校給食での地元農産物の利用を継続している。更に、あいあいセンターにて農村レストランが開店し地元農産物をふんだんに使用したランチを提供しており、地産地消の推進が図れた。グリーンツーリズムについては主立った事業が行われなかった。						
(5)	農村環境の保全と改善	農業振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	32.50		
取組内容	有害鳥獣被害防止策として、邑楽猟友会等と連携し、檻を使った小動物の捕獲と銃器を使った鳥類の捕獲をおこない、農作物への被害の軽減を図った。農業用道路(町道)の整備については、県単補助を活用し順次進めた(担当:都市建設課)。農業農村の有する多面的機能の維持・発揮のため、多面的機能支払交付金を活用して継続的に取り組めた。						
(6)							
(7)							
目 標 ① ( D )	KPI	認定農業者数				<p>(人) 指標 成果 達成率</p> <p>200.0 100.0 0.0</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p> <p>100.0% 50.0% 0.0%</p>	達成率
	H32	120.0		単位	人		100.0%
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	105.0	人	107.0	人		100.0%
	H29	110.0	人	112.0	人		100.0%
	H30	113.0	人	118.0	人		100.0%
	H31	115.0	人	128.0	人		100.0%
H32	120.0	人		人	#N/A		
目 標 ② ( D )	KPI					<p>指標 成果 達成率</p> <p>1.0 0.5 0.0</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p> <p>100.0% 50.0% 0.0%</p>	達成率
	H32			単位			—
	年度	指標	成果	達成率			
	H28						#N/A
	H29						#N/A
	H30						#N/A
	H31						#N/A
H32					#N/A		
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】農業従事者の高齢化、後継者不足			課題の捉え方	点数		
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】県やJAと連携し、新たな認定農業者の掘り起こしや、既認定農業者については、更新時、再認定を働きかける。認定農業者のメリットをPRし、更なる人員増を目指す。また認定農業者協議会への活動支援を引き続き行う。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	32.50点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.19点 /10点	6.72点 /10点		76.41点 /100点

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり				
	基本方針	基本方針4活力ある産業を育み働きやすいまち		基本計画 KPI①担当課	商工振興課	
	基本計画	16_工業の振興		担当及び	KPI②担当課	
目的	地域経済の安定と雇用を確保するため、経営強化された企業や優良な新企業が立地した町とする。					
P D C A  ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO			
	(1)	中小企業の経営安定化	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	
	取組内容	商工会及び金融機関と連携して、制度融資を活用した金融支援を中小企業に行った。また、邑楽町小規模企業振興会議を継続して開催することで、各分野の委員との議論が深められ、今後の町の施策の方向性につながる指針ができた。			62.5	
	(2)	企業誘致の推進	都市建設課(商工)	あまり取り組めていない	25	
	取組内容	・新規工業団地については、一般保留地区について継続検討を行っているが具体的な事業展開には至っていない。また、既存工業団地については、ストックは無く新たな企業誘致には至らなかった。			×	
	(3)	研究開発や起業・創業の促進	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	
	取組内容	県と連携した邑楽町ぐんま新技術・新製品開発推進事業を昨年度に続き実施し、中小企業の工業振興に寄与できた。また、商工会と連携した創業支援施策として、ワンストップ相談窓口を引続き設置し、その支援を図った。			50%	
	(4)	担い手の育成	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	
	取組内容	一般労働者や学生等の能力開発と技術向上を図るため、産業技術専門学校や職業訓練校を始めとした専門分野に特化した組織を支援し、就労促進等を図った。専門の経営指導員が在籍する商工会を支援することで経営診断や研修会等を通して担い手の育成の促進に結びついた。			点数	
	(5)					
取組内容				31.25		
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① ( D )	KPI	創業支援事業による起業事業者数				達成率
	H32	10.0		単位	件	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×
	H28	1.0	件	1.0	件	100.0%
	H29	1.0	件	2.0	件	100.0%
	H30	2.0	件	3.0	件	100.0%
	H31	2.0	件	2.0	件	100.0%
H32	10.0	件		件	#N/A	
						30
目標② ( D )	KPI					達成率
	H32			単位		—
	年度	指標	成果	達成率		×
	H28					100.0%
	H29					50.0%
	H30					0.0%
	H31					0.0%
H32					0.0%	
						—
分析 ( C )	CHECK				策定委員会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】今後、商工会と連携を強化したうえで、創業支援のワンストップ窓口のPRが必要だと思慮される。また、創業後5年未満の者でも創業支援は受けられる等、知られていない情報等もあり、そうした情報をいかに発信していくかが、今後の課題といえる。				課題の捉え方	点数
改善 ( A )	ACTION				策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】邑楽町で創業するメリットを広くPRする必要があるとともに、経営相談や金融相談等が一貫通貫で行える体制の構築が必要であると思慮される。また、個人事業主が町外で工場や店舗等を構えたとしても、住民登録が邑楽町にあれば、税収に結びついたので、そういった人の場合でも支援が受けられる施策の要件緩和が考えられる。				解決・改善の捉え方	点数
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 75.31点 /100点
	31.25点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.03点 /10点	7.03点 /10点	



令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針4活力ある産業を育み働きやすいまち			基本計画	KPI①担当課 商工振興課	
	基本計画	17.商業の振興			担当及び	KPI②担当課	
目的	町民の生活を支えるとともに、本町のにぎわいを創出するため、町民のニーズに応えられる商店、訪れたい商店が立地する町とする。						
P D C A ( P D )	PLAN 施策の方向性			DO			
	(1)	商業の振興	担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	取組内容	商工会及び金融機関と連携して、制度融資を活用した金融支援を中小企業に行った。住宅リフォーム補助金制度により町内建設関連業者の活性化とともに、町民の消費活性化の促進が大いに図れた。邑楽町小規模企業振興会議を継続して開催することで、各分野の委員との議論が深められ、今後の町の施策の方向性につながる指針ができた。			概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50.0
	(2)	商業進出の支援	担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	取組内容	産業競争力強化法に基づく「創業支援等事業計画」を改定し、2年間の延長を国に申請し、認定を受けた。創業支援のワンストップ窓口を設け、商業進出の支援策を講じた。また、情報収集を強化し、商業進出における課題の分析等も行った。			あまり取り組めていない	25	×係数
	(3)					50%	
	取組内容						
	(4)					点数	
	取組内容						
	(5)					25.00	
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① ( D )	KPI	創業支援事業による起業店舗数				達成率	
	H32	10.0		単位	件	50.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	1.0	件	0.0	件	0.0%	
	H29	1.0	件	2.0	件	100.0%	
	H30	2.0	件	0.0	件	0.0%	
	H31	2.0	件	1.0	件	50.0%	
H32	10.0	件		件	#N/A		
						30 点数	
						15.00	
目標② ( D )	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					100.0%	
	H29					50.0%	
	H30					0.0%	
	H31					0.0%	
H32					#N/A		
						—	
分析 ( C )	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】商工会と連携を強化したうえで、創業支援のワンストップ窓口のPRが必要だと思慮される。今後は空き店舗等の居抜き物件の情報等も広く収集し、ハードとソフトの一体的な支援を展開することで、創業者のニーズとのマッチングが図られ、商業進出の促進にもつながると考える。				課題の捉え方	点数	
					A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.03	
改善 ( A )	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】邑楽町で創業するメリットを広くPRする必要があるとともに、経営相談や金融相談等が一気通貫で行える体制の構築が必要であると思慮される。また、今後は事業承継の問題(承継者がいないため空き店舗となる)解決と一体的に取組む施策の必要がある。				解決・改善の捉え方	点数	
					A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.56	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 53.59点 /100点	
	25.00点 /50点	15.00点 /30点	— 一点	7.03点 /10点	6.56点 /10点		

# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針4活力ある産業を育み働きやすいまち			基本計画	KPI①担当課 商工振興課	
	基本計画	18.良好な就労環境の整備			担当及び	KPI②担当課	
目的	働く意欲のあるすべての人の雇用が安定するように、就業機会が確保され、勤労者の福祉が充実した町とする。						
P D C A  ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	若者・女性・高齢者などへの就労支援	商工振興課	一部取り組んでいる	50	50.0	
	取組内容	ぐんま若者サポートステーションと連携した若者の就労支援を行った。高齢者活力センターと連携し、高齢者の雇用促進事業を引き続き行った。					
	(2)	雇用の安定・促進に向けた事業者との連携	商工振興課	一部取り組んでいる	50	×係数	
	取組内容	中小企業退職金共済制度に加入している事業主に対して助成を行い、従業員の安定した雇用に資する支援を行った。					
	(3)	勤労者福祉の充実	商工振興課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	企業の法定外福利厚生サービスに対する支援として、邑楽町労使教育委員会と連携して、レクリエーション事業等の充実を図り、勤労者の福祉向上に努めた。					
	(4)					点数	
	取組内容						
(5)					25.00		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① ( D )	KPI	勤労者向けのレクリエーションイベント参加者数				達成率	
	H32	300.0		単位	人	66.8%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	260.0	人	357.0	人	100.0%	30 点数
	H29	265.0	人	251.0	人	94.7%	
	H30	270.0	人	149.0	人	55.2%	
	H31	280.0	人	187.0	人	66.8%	
H32	300.0	人		人	#N/A		
						20.04	
目 標 ② ( D )	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					100.0%	— 点数
	H29					50.0%	
	H30					0.0%	
	H31					0.0%	
H32					0.0%		
						—	
分 析 ( C )	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
	【KPI①】邑楽町労使教育委員会の事業として取組んでいる学級講座事業とレクリエーション事業については、例年バスツアーが主なメニューになっている。令和元年度事業では、ツアー数を集約し内容を充実させ、参加費を押さえたことで、前年度より参加者は増加したものの、若い勤労者の参加が依然少ない。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.25	
改 善 ( A )	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①】若い勤労者やその家族が参加しやすいレクリエーション事業等を検討する必要がある。例えば、若い夫婦が参加できるように、保育付きレクリエーション事業等も考えられる。一方で、事業のPR不足もあり町内事業所に情報が届いていないケースもあることから、PR方法等も改善事項として挙げられる。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.41	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≒	
	25.00点 /50点	20.04点 /30点	— 一点	6.25点 /10点	6.41点 /10点		総合評価(点数) 57.7点 /100点

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり																												
	基本方針	基本方針4活力ある産業を育み働きやすいまち			基本計画	KPI①担当課 商工振興課																								
	基本計画	19 観光活動の活発化			担当及び	KPI②担当課																								
目的	観光産業を育成するため、魅力的な観光拠点があり、地域資源を生かした体験型観光やイベントなどが開催される町とする。																													
P D C A ( P D )	PLAN			DO																										
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均																							
	(1)	観光地域づくりと観光客誘客の推進		商工振興課	計画調書通り取り組んでいる	100	100.0																							
	取組内容	シンボルタワーを中心として開催した「光のページェントHIKARI MIRAI」の内容を拡充して開催し、冬の一大イベントとしての地位を確立した。夜の交流人口増加にも寄与した。また、あいあいセンターと連携を図り、期間限定のナイトカフェもオープンさせ、誘客促進につなげることができた。また、群馬デスティネーションキャンペーンにも、観光素材としてシンボルタワーとあいあいセンターを登録し、全国にPRするための取組も行った。																												
	(2)	観光活動の活発化		商工振興課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数																							
	取組内容	群馬デスティネーションに関連した全国宣伝販売促進会議に出席し、邑楽町のPRを行った。また、エクスカーション(現地視察)において、観光会社等に邑楽町の観光素材を売り込んだ。一方で、東京国際フォーラムで開催された「町イチ！村イチ！2019」にも参加し、本町の特産品等を販売し、PRも積極的に行い、全国向けのPR活動ができた。																												
	(3)						50%																							
	取組内容																													
	(4)						点数																							
	取組内容																													
(5)						50.00																								
取組内容																														
(6)																														
取組内容																														
(7)																														
取組内容																														
目 標 ① ( D )	KPI	観光イベントの参加者数				<p>(人) 指標 成果 達成率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>指標</th><th>成果</th><th>達成率</th></tr> <tr><td>H28</td><td>51300.0</td><td>52000.0</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>51500.0</td><td>53000.0</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>51700.0</td><td>53000.0</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H31</td><td>51800.0</td><td>54000.0</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H32</td><td>52000.0</td><td>#N/A</td><td>#N/A</td></tr> </table>	年度	指標	成果	達成率	H28	51300.0	52000.0	100.0%	H29	51500.0	53000.0	100.0%	H30	51700.0	53000.0	100.0%	H31	51800.0	54000.0	100.0%	H32	52000.0	#N/A	#N/A
	年度	指標	成果	達成率																										
	H28	51300.0	52000.0	100.0%																										
	H29	51500.0	53000.0	100.0%																										
	H30	51700.0	53000.0	100.0%																										
	H31	51800.0	54000.0	100.0%																										
	H32	52000.0	#N/A	#N/A																										
H32	52000.0	単位	人	達成率																										
年度	指標	成果	達成率																											
H28	51300.0	人	52000.0	人	100.0%																									
H29	51500.0	人	53000.0	人	100.0%																									
H30	51700.0	人	53000.0	人	100.0%																									
H31	51800.0	人	54000.0	人	100.0%																									
H32	52000.0	人		人	#N/A																									
目 標 ② ( D )	KPI					<p>0 指標 成果 達成率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>指標</th><th>成果</th><th>達成率</th></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td></td><td>#N/A</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td></td><td>#N/A</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td></td><td>#N/A</td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td></td><td>#N/A</td></tr> <tr><td>H32</td><td></td><td></td><td>#N/A</td></tr> </table>	年度	指標	成果	達成率	H28			#N/A	H29			#N/A	H30			#N/A	H31			#N/A	H32			#N/A
	年度	指標	成果	達成率																										
	H28			#N/A																										
	H29			#N/A																										
	H30			#N/A																										
	H31			#N/A																										
	H32			#N/A																										
H32		単位		達成率																										
年度	指標	成果	達成率																											
H28				#N/A																										
H29				#N/A																										
H30				#N/A																										
H31				#N/A																										
H32				#N/A																										
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄																										
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数																									
	【KPI①】おura祭りの打ち上げ花火、産業祭のサービス満点のイベント、光のページェントHIKARI MIRAIの美しいイルミネーション等、毎年その誘客数を伸ばしており、地域にとって欠かすことのできない定番イベントとして確立するまでに至った。シンボルタワーにおいては令和元年度、入館者数1533人と、毎年前年を上回るペースで入館者数が増加している。今後は、さらなる誘客促進に向けた取組として、イベントの拡充とプロモーションの強化が求められている。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 8 C5点 D2.5点 0 E0点 0	8.13																									
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄																										
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数																									
	【KPI①】プロモーションの強化が誘客につながることは言うまでもない。群馬デスティネーションキャンペーンを利用した観光素材のPR等を積極的にやりたい。また、歩いて登ろう健康ウオークについても利用者数を、さらに伸ばせるような付加価値のある事業(105回達成ノベルティグッズの配布等)と連携した取組を行いたい。PRとイベント拡充に力を入れ、もってさらなる誘客促進を狙う。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 12 C5点 D2.5点 0 E0点 0	7.81																									
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)																							
	50.00点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	8.13点 /10点	7.81点 /10点		95.94点 /100点																							



令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針5快適で利便性の高い都市基盤のまち		基本計画 KPI①担当課	都市建設課		
	基本計画	20 計画的な土地利用の推進		担当及び KPI②担当課			
目的	自然と暮らしやすい環境が調和した、秩序ある計画的な土地利用と市街地整備がなされている町とする。						
P D C A  ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	秩序ある土地利用の規制・誘導	都市建設課	取組状況 概ね計画調書通り取り組んでいる	進捗 75	進捗平均  62.5	
	取組内容	・H30.5月に公表した「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」に基づき、土地利用の誘導を促している。また、「土地開発指導要綱」に基づき、開発に係る指導・助言を行い義務的な規制ではないものの、無秩序な開発の抑制に寄与している。					
	(2)	都市的土地利用の促進	都市建設課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	・H30.5月に公表した「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」の中で掲げたまちづくりの目標に向けて、関係機関と協議を行い地区計画制度の活用について次年度に繋げる方向性を定めた。					
	(3)	自然的土地利用の保全	農業振興課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	農地の有効利用については、邑楽農業振興地域整備計画を基本とし、県と連携して慎重に進めた。松くい虫被害木の伐倒及び樹幹注入による適正処理により平地林の保全が図れた。国庫及び県単補助の小規模農村整備事業を活用し、道路整備等居住環境整備が進んだ。(担当：都市建設課)					
	(4)	市街地整備、面整備事業の推進	都市建設課	一部取り組んでいる	50	点数	
	取組内容	・鶴土地区画整理事業の令和元年度末進捗率は41.0%であった。					
	(5)					31.25	
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① ( D )	KPI	土地利用に対する満足度				<p>アンケート未実施のため前回実績を記載(H28)</p> <p>(%) 指標 成果 達成率</p> <p>30.0 100.0% 25.0 50.0% 20.0 0.0% 15.0</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	
	H32	25.0		単位	%		達成率
	年度	指標	成果	達成率			87.7%
	H28	23.2	%	22.4	%		96.6%
	H29	23.6	%	22.4	%		94.9%
	H30	24.0	%	22.4	%		93.3%
	H31	24.4	%	21.4	%		87.7%
H32	25.0	%		%	#N/A		
目標② ( D )	KPI					<p>0 100.0% 1.0 50.0% 0.5 0.0% 0.0</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	
	H32			単位			達成率
	年度	指標	成果	達成率			—
	H28						#N/A
	H29						#N/A
	H30						#N/A
	H31						#N/A
H32					#N/A		
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」に基づき、具体的な取り組みとして地区計画制度の方向付けができた。今後、地区計画を設定していく上では住民の意見と制度のマッチングが必要であり、住民意見を尊重した制度設計をしていく必要がある。			課題の捉え方	点数		
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】地区計画制度設定に向けて、説明会及び広報おうら並びにホームページ等により、住民に対し制度について周知を図りながら制度設計をしていく。 ・引き続きまちづくりの基礎となる、「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」の周知も継続的に行っていく。			解決・改善の捉え方	点数		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 72.87点 /100点	
	31.25点 /50点	26.31点 /30点	— 一点	7.81点 /10点	7.50点 /10点		

# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり				
	基本方針	基本方針5快適で利便性の高い都市基盤のまち		基本計画 K P I ①担当課	都市建設課	
	基本計画	21 交通環境の整備		担当及び K P I ②担当課	企画課	
目的	交通の利便性向上や産業の活性化のため、町全体に機能的で安全な道路網を整える。また、誰もが不自由なく移動できるように、公共交通が利用しやすい環境を整える。					
P D C A ( P D )	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	広域幹線道路の整備	都市建設課	一部取り組んでいる	50	70.0
	取組内容		・H26年度より主要地方道足利・邑楽・行田線歩道設置事業狸塚工区事業着手している(H31最終年)。			
	(2)	町道の整備・維持管理	都市建設課	概ね計画通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容		・市町村道五ヶ年計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用しながら幹線道路への歩道設置を実施している(幹線26号線)。また、舗装維持修繕計画(長寿命化計画)に従い舗装修繕を実施している。 ・維持管理については、業務委託を行い、地区の土木委員と協力し事故の未然防止に努めている。			
	(3)	戦略的な道路整備の推進	都市建設課	あまり取り組んでいない	25	50%
	取組内容		・都市計画決定されていても、計画を縮小して行うものが県管理1路線(足利邑楽行田線)がある。 ・(仮称)両毛中央幹線(利根川新橋)の実現に向け足利鴻巣線新設整備促進同盟会及び利根川新橋建設促進期成同盟会を通して要望を行っている。			
	(4)	鉄道交通の推進	企画課	計画通り取り組んでいる	100	点数
	取組内容		東武鉄道促進期成同盟会(7市5町)により、乗車啓発活動や東武本社への小泉線の利便性の向上、特急りょうもう号の最終便増設や本中野駅舎の耐震化などの要望活動を行い、鉄道交通の更なる利便性向上を図った。			
(5)	公共バス路線の整備	企画課	計画通り取り組んでいる	100	35.00	
取組内容		町の公共バス2路線【邑楽～太田線と館林・邑楽・千代田線】の運行事業者へ運行補助を行い運行維持を図った。また、持続可能な交通ネットワーク目指し「館林都市圏地域公共交通網形成計画」策定に向けて公共交通に関する住民アンケート及び地域懇談会を実施し、町民意向などの基礎調査を行った。				
(6)						
(7)						
目 標 ① ( D )	KPI	国県道を含めた町内道路の改良率				達成率
	H32	61.0		単位	%	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	59.4	%	59.8	%	100.0%
	H29	59.6	%	60.3	%	100.0%
	H30	59.8	%	60.3	%	100.0%
	H31	60.0	%	60.9	%	100.0%
H32	61.0	%	#N/A	%	#N/A	
					15.00	
目 標 ② ( D )	KPI	公共バス利用者数				達成率
	H32	28500.0		単位	人	81.3%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	27800.0	人	26957.0	人	97.0%
	H29	27900.0	人	25622.0	人	91.8%
	H30	28100.0	人	23097.0	人	82.2%
	H31	28300.0	人	23002.0	人	81.3%
H32	28500.0	人	#N/A	人	#N/A	
					12.19	
分 析 ( C )	CHECK				策定委員会評価欄	
	<p>目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。</p> <p>【KPI①】・交付金等の特定財源の確保が難しく進捗に遅れが出ているため、引続き国・県への要望を行っていく。 【KPI②】・利用者数(H30)23,097人(館9,754人+太13,343人)→(R1)23,002人(館11,350人+太11,652人)=前年度比-95人となっており、利用者数は大きな増減はない。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校措置、在宅勤務等の影響で両線ともに3月の利用者数が減少しているが、特に、邑楽～太田線は顕著である。 ・2021年度運行開始予定であった高崎市から館林市間を繋ぐBRT事業(バス高速輸送システム)が関係機関の協議無く県判断で一旦白紙となった。</p>				課題の捉え方	点数
<p>A～Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 1 E0点 0</p>					7.03	
改 善 ( A )	ACTION				策定委員会評価欄	
	<p>来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。</p> <p>【KPI①】・県の管理する広域的幹線道路は局部的ではあるが改善されており、引きつづき要望を行っていく。 ・町の管理する道路については、幹線道路・生活道路ともに交付金等の特定財源の確保に努め毎年一定程度の整備を推進していく。 【KPI②】・白紙となったBRT事業(バス高速輸送システム)の幹線の位置付けを1次交通である鉄道として考え、持続可能な交通ネットワークの構築に向け、館林都市圏地域公共交通網形成計画を策定し、利用者の更なる需要の掘り起こしや経路、ダイヤの再構築を検討する。 ・高齢者や幼少者向けの「バスの乗り方教室」を実施するなど、周知・理解と利用促進を図っていく。</p>				解決・改善の捉え方	点数
<p>A～Eの5段階評価 A10点 B7.5点 9 C5点 D2.5点 0 E0点 0</p>					7.66	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 76.88点 /100点
	35.00点 /50点	15.00点 /15点	12.19点 /15点	7.03点 /10点	7.66点 /10点	

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針5快適で利便性の高い都市基盤のまち		基本計画 K P I ①担当課	都市建設課		
	基本計画	22. 緑と水辺の保全と整備		担当及び K P I ②担当課	都市建設課		
目的	緑と水辺の保全と整備により、心安らぐ魅力ある空間があり、美しい自然と触れ合える町とする。						
P D C A  ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	公園の整備推進	担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
		取組内容	都市建設課	一部取り組んでいる	50	43.8	
	・おうら中央公園駐車場の整備を行った。						
	(2)	緑・自然環境の保全	都市建設課	一部取り組んでいる	50	×係数	
		取組内容	・邑楽町河川愛護クリーン運動の会が矢場川クリーン作戦や孫兵衛川クリーン作戦を行い河川環境の保全に取り組んでいる。 ・外来魚駆除作戦のときに、自然観察学習を行い自然環境に関する正しい知識の普及・啓発に努めている。			50%	
	(3)	河川の整備促進	都市建設課	一部取り組んでいる	50		
		取組内容	・多々良川河川整備事業実施中(現在78%)。 ・新堀川・逆川の河川整備について、アンケート及び川づくり会議を実施。				
	(4)	自然景観の整備	都市建設課	あまり取り組んでいない	25	点数	
		取組内容	・多々良沼公園については、芝刈り・草刈り・清掃業務を高齢者活力センターに委託し、植栽管理業務は造園業者に委託し、適正な管理に努めている。			21.88	
(5)							
	取組内容						
(6)							
	取組内容						
(7)							
	取組内容						
目 標 ① ( D )	KPI	都市公園供用面積				達成率	
	H32	33.6		単位	ha	97.3%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	32.8	ha	32.6	ha	99.4%	15
	H29	33.0	ha	32.6	ha	98.8%	
	H30	33.2	ha	32.5	ha	97.9%	点数
	H31	33.4	ha	32.5	ha	97.3%	14.60
H32	33.6	ha		ha	#N/A		
目 標 ② ( D )	KPI	一級河川改修率				達成率	
	H32	63.0		単位	%	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	62.2	%	66.0	%	100.0%	15
	H29	62.4	%	67.0	%	100.0%	
	H30	62.6	%	66.0	%	100.0%	点数
	H31	62.8	%	66.7	%	100.0%	15.00
H32	63.0	%		%	#N/A		
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①②の内容含む】 計画区域内で、用地の取得ができていないところがある。			課題の捉え方	点数		
				A~Eの5段階評価 A10点 0 B7.5点 3 C 5点 12 D2.5点 1 E 0点 0	5.31		
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 用地交渉の方法を研究し、交渉を行う。			解決・改善の捉え方	点数		
				A~Eの5段階評価 A10点 0 B7.5点 3 C 5点 12 D2.5点 1 E 0点 0	5.31		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	21.88点 /50点	14.60点 /15点	15.00点 /15点	5.31点 /10点	5.31点 /10点		62.09点 /100点



# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針5快適で利便性の高い都市基盤のまち		基本計画 K P I ①担当課	都市建設課		
	基本計画	23.良好な住環境と市街地形成		担当及び K P I ②担当課	都市建設課		
目的	良質な住宅の供給と良好な住環境の整備を進め、誰もが安心して快適に暮らせる町とする。						
P D C A ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	良好な住環境の形成	都市建設課(安安)	一部取り組んでいる	50	50.0	
	取組内容	・町内の空き家対策として、邑楽町空き家等対策の推進に関する条例を制定し、次年度に向けた法令の整備を設定した。 ・鶉土地区画整理事業では、宅地の区画形成及び道路整備のための移転補償、道路築造工事等を進めた。また、仮換地と一体的に利用してもらうための保留地を5箇所処分した。事業の長期化については、仮換地が未指定になっている一部区域の権利者等の合意が得られるよう、換地計画の見直しを進めた。					
	(2)	快適な市街地の形成	都市建設課	一部取り組んでいる	50	×係数	
	取組内容	「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」に基づき、市街化調整区域の「まちなまとまり」として地区計画制度の設定に向けた方向付けを群馬県と調整を進めることができた。					
	(3)	町営住宅の整備	都市建設課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	・既存の町営住宅の適切な修繕実施と合わせ、今後の町営住宅の維持及び建替えについて方針づけとなる「町営住宅長寿命化計画」の改定を行った。					
	(4)	民間の住宅建設の適正誘導	都市建設課	一部取り組んでいる	50	点数	
	取組内容	・民間住宅の適正誘導については、「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」の施策として、次年度に向けた地区計画制度の方向付けを行った。 ・住宅リフォーム補助(77件)や木造住宅簡易耐震診(2件)の制度について、一定の利用実績があった。					
	(5)					25.00	
(6)							
(7)							
目 標 ① ( D )	KPI	住環境に対する満足度				達成率	
	H32	30.0		単位	%	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	26.6	%	25.0	%	94.0%	15 点数
	H29	27.4	%	25.0	%	91.2%	
	H30	28.2	%	25.0	%	88.7%	
	H31	29.0	%	36.0	%	100.0%	
H32	30.0	%		%	#N/A		
目 標 ② ( D )	KPI	鶉土地区画整理事業進捗率				達成率	
	H32	53.0		単位	%	84.7%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	34.6	%	32.8	%	94.8%	15 点数
	H29	39.2	%	34.7	%	88.5%	
	H30	43.8	%	36.9	%	84.2%	
	H31	48.4	%	41.0	%	84.7%	
H32	53.0	%		%	#N/A		
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】・「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」の具体的な施策展開として、群馬県との協議により地区計画制度を活用する方向付けができたが、制度について住民への理解を深める方法を検討していく課題がある。 ・町営住宅長寿命化計画の改定に基づき、現在入居している住民への計画の理解を深める必要がある。 【KPI②】・土地区画整理事業は、移転補償費を主として多大な事業費を必要とするが、令和元年度は国の補正予算を利用して交付金の確保に努めたものの、今後も社会経済情勢や町の財政状況等から、計画した事業費(予算)の確保が困難と思われる。			課題の捉え方	点数		
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】・地区計画制度の設定に向けた、住民への周知方法を説明会や広報紙やホームページ等を活用し周知を図っていく。 ・町営住宅長寿命化計画に基づく、当該計画についての運用について入居者に対しアンケート調査の実施を行い、計画施策実施に向けた手続きを進める。 【KPI②】・土地区画整理事業は、確保できた予算で効率的に事業を執行する。また、仮換地が未指定になっている一部区域については、平成30年度から取り組んでいる換地計画の見直しを進め、今後3年度で事業費を軽減できる計画変更を目指す。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≒	
	25.00点 /50点	15.00点 /15点	12.71点 /15点	7.50点 /10点	7.34点 /10点		
総合評価(点数) 67.55点 /100点							

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり				
	基本方針	基本方針5快適で利便性の高い都市基盤のまち		基本計画	KPI①担当課	
	基本計画	24.安定した上水道の供給		担当及び	KPI②担当課	
目的	広域水道事業を推進し、持続可能な水道による安定した水の供給を実現する。					
P D C A  ( P D )	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	群馬東部広域水道事業の推進	安全安心課(企業団)	計画調書通り取り組んでいる	100	95.0
	取組内容	包括業務委託によって、職員がコア業務に専念できるようになり効率的に業務を進めることができた。また、官民出資会社と連携し、地域内サービス水準の均一化を図ると共に、更なる品質の向上に努めた。				
	(2)	水源の有効活用	安全安心課(企業団)	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数
	取組内容	企業団エリア全体のスケールメリットを生かした水融通の検討を進め、所有する水源を最大限有効活用している。				
	(3)	安定供給体制の向上	安全安心課(企業団)	計画調書通り取り組んでいる	100	100%
	取組内容	強靱な水道を構築するため、群馬県の用水供給事業との統合へ向けた協議を進めた。また、老朽化した管路や機場施設の更新を進め、安定供給体制の向上を図った。				
	(4)	維持管理費・更新費用の低減	安全安心課(企業団)	計画調書通り取り組んでいる	100	点数
	取組内容	既存施設の統廃合計画に則った更新事業を執行し、維持管理費用の低減につなげた。また、老朽化した施設も不要な更新は行わず、創意工夫により無駄な投資を避けている。				
(5)	災害対策の推進	安全安心課(企業団)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	95.00	
取組内容	日本水道協会群馬県支部合同防災訓練に参加し、参集・応急給水の手順を再確認した。また、危機管理プロジェクトを立ち上げ、既存のマニュアルの更新整備に着手した。					
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① (D)	KPI					達成率
	H32	単位				—
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28			#N/A		30
	H29			#N/A		点数
	H30			#N/A		—
	H31			#N/A		—
H32			#N/A	—		
目標② (D)	KPI					達成率
	H32	単位				—
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28			#N/A		—
	H29			#N/A		点数
	H30			#N/A		—
	H31			#N/A		—
H32			#N/A	—		
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数	
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)
	95.00点 /50点	— 一点	— 一点	— /10点	— /10点	

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針6自然と人が調和し環境にやさしいまち		基本計画 KPI①担当課	安全安心課		
	基本計画	25.温暖化防止対策の推進		担当及び KPI②担当課			
目的	地球温暖化対策に対する町民の意識啓発を図り、温室効果ガス排出量の削減に関し自らが取り組む町とする。						
P D C A ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	環境教育・環境学習の推進	安全安心課	一部取り組んでいる	50	56.3	
	取組内容	各行政区や地域の環境教育に繋げるために、生活環境委員の会議や視察研修を定期的に継続して実施した。					
	(2)	率先行動の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	町内から排出されるごみの減量化を図るため、生活環境委員会による小型家電・古着・古布等回収事業及び古タイヤ回収事業を行った。 住宅用太陽光発電システム設置費補助を行い、クリーンエネルギーの普及促進を図った。					
	(3)	環境情報の整備・提供	安全安心課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	群馬県地球温暖化防止活動推進センター連携し、必要とされる情報発信を行った。					
	(4)	地球環境に配慮した行動の普及・促進	安全安心課	一部取り組んでいる	50	点数	
	取組内容	省エネ対策やクールビズ等の普及活動の実施。					
(5)					28.13		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① ( D )	KPI	住宅用太陽光発電システム補助金申請数				達成率	
	H32	700.0		単位	件	95.1%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	536.0	件	536.0	件	100.0%	30
	H29	590.0	件	581.0	件	98.5%	点数
	H30	630.0	件	613.0	件	97.3%	
	H31	670.0	件	637.0	件	95.1%	28.52
H32	700.0	件		件	#N/A		
目標② ( D )	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					100.0%	—
	H29					50.0%	—
	H30					0.0%	
	H31						
H32							
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】太陽光発電の固定買取価格制度の保証期間(10年)が経過する一般家庭が増加する。 売電価格の低下等に伴う、太陽光発電システム設置数の減少。			課題の捉え方	点数		
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】電気代の節約や売電収入だけでなく、本来の目的である節電や災害時の非常用電源としての太陽光発電・蓄電システム設置の推進。			解決・改善の捉え方	点数		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 69.31点 /100点	
	28.13点 /50点	28.52点 /30点	— 一点	6.25点 /10点	6.41点 /10点		



# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり						
	基本方針	基本方針6自然と人が調和し環境にやさしいまち		基本計画 K P I ①担当課	安全安心課			
	基本計画	26. 快適な生活環境の創造		担当及び K P I ②担当課				
目的	日常生活や産業活動からの公害の発生を防止し、快適で美しい生活環境や自然環境が守られた町とする。							
P D C A  ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO					
	(1)	環境美化運動の推進	担当課	取組状況	進捗	進捗平均		
	取組内容	各行政区及び住民と連携を図りながら年2回の環境美化運動を実施した。また、犬のふん害対策として、立て看板を各地区に設置した。		安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0	
	(2)	不法投棄対策の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数		
	取組内容	不法投棄抑止のために生活環境委員会を中心に各行政区において、巡回、監視、回収を行っている。また、頻繁に不法投棄されるところについては、防犯カメラを設置するなどの対策を講じた。						
	(3)	都市・生活型公害対策の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%		
	取組内容	生活排水による河川等への水質汚濁防止のため、合併浄化槽設置補助金を交付した。町内の河川等の水質を把握するため、年2回水質検査を行った。						
	(4)	産業型公害対策の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数		
	取組内容	公害防止協定に基づく報告書を各工場から提出してもらい、協定値を超えている工場については指導を行った。また、水質汚濁防止法に基づく排出基準の遵守状況を調査するため、町内8工場において工場排水の水質検査を実施した。						
	(5)						37.50	
取組内容								
(6)								
取組内容								
(7)								
取組内容								
目 標 ① ( D )	KPI	BOD				<p>現状値0.9~11mg/lなので上限11mg/lを基準値とする</p>	達成率	
	H32	8.5		単位	mg/l		100.0%	
	年度	指標	成果	達成率			×係数	
	H28	10.5	mg/l	13.0	mg/l		0.0%	30
	H29	10.0	mg/l	11.0	mg/l		0.0%	点数
	H30	9.5	mg/l	8.3	mg/l		100.0%	30.00
	H31	9.0	mg/l	7.6	mg/l		100.0%	
H32	8.5	mg/l		mg/l	#N/A			
目 標 ② ( D )	KPI						達成率	
	H32			単位			—	
	年度	指標	成果	達成率			×係数	
	H28			#N/A			100.0%	—
	H29			#N/A			100.0%	—
	H30			#N/A			50.0%	—
	H31			#N/A			0.0%	—
H32			#N/A		0.0%	—		
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄				
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数			
	【KPI①】工場排水の水質検査で公害防止協定の基準値を超えている工場があった。			A~Eの5段階評価 A10点 1 B7.5点 10 C 5点 4 D2.5点 1 E 0点 0	6.72			
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄				
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数			
	【KPI①】基準値を超えている工場に対して、常時、公害防止協定の基準値内に抑えられるよう指導していく。			A~Eの5段階評価 A10点 1 B7.5点 9 C 5点 5 D2.5点 1 E 0点 0	6.56			
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)	
	37.50点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	6.72点 /10点	6.56点 /10点		80.78点 /100点	

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針6自然と人が調和し環境にやさしいまち			基本計画 担当及び	KPI①担当課 安全安心課	
	基本計画	27.循環型社会の形成			KPI②担当課	安全安心課	
目的	環境への負荷を軽減するため、限りある資源の消費抑制と有効利用を推進する町とする。						
P D C A ( P D )	PLAN 施策の方向性			DO			
	(1)	公共下水道事業の推進	安全安心課	取組状況	計画調書通り取り組んでいる	進捗	100
	取組内容	地域し尿処理施設(新中野・明野地区)の公共下水道への編入に向けた工事を実施。				進捗平均	85.0
	(2)	公共下水道事業認可区域外の排水処理の推進	安全安心課	取組状況	計画調書通り取り組んでいる	進捗	100
	取組内容	浄化槽設置補助金交付:55基 エコ補助金交付:20件				進捗平均	×係数
	(3)	ごみの減量やリサイクルの推進	安全安心課	取組状況	一部取り組んでいる	進捗	50
	取組内容	資源ごみ集団回収団体への補助金を交付。電気式生ごみ処理機やコンポスターの購入補助金を交付。				進捗平均	50%
	(4)	ごみ処理の適正化	安全安心課	取組状況	計画調書通り取り組んでいる	進捗	100
	取組内容	ごみの収集・運搬を適正に行うため、可燃ごみ及び不燃、資源ごみ等、民間業者へ委託し、効率的に業務を行った。太田市外3町で建設を進めている、新焼却炉については令和3年4月の稼動にむけて順調に工事が進んでいる。				進捗平均	点数
	(5)	し尿等の適正処理の推進	安全安心課	取組状況	概ね計画調書通り取り組んでいる	進捗	75
取組内容	し尿及び浄化槽汚泥は、町内許可業者2社が収集し、大泉町衛生センターで適正に処理。				進捗平均	42.50	
(6)						進捗平均	
取組内容						進捗平均	
(7)						進捗平均	
取組内容						進捗平均	
目標① ( D )	KPI	汚水処理人口普及率				<p>(%) 指標 成果 達成率</p> <p>70.0 100.0% 60.0 50.0% 50.0 0.0%</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	達成率
	H32	60.0		単位	%		100.0%
	年度	指標	成果	達成率	×係数		15
	H28	55.0	%	54.6	%		99.3%
	H29	56.5	%	57.5	%		100.0%
	H30	58.0	%	58.9	%		100.0%
	H31	59.0	%	59.8	%		100.0%
H32	60.0	%	#N/A	%	#N/A		
目標② ( D )	KPI	資源化率				<p>(%) 指標 成果 達成率</p> <p>20.0 100.0% 10.0 50.0% 0.0 0.0%</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	達成率
	H32	11.0		単位	%		100.0%
	年度	指標	成果	達成率	×係数		15
	H28	8.5	%	8.2	%		96.5%
	H29	9.0	%	8.5	%		94.4%
	H30	9.5	%	11.0	%		100.0%
	H31	10.0	%	10.2	%		100.0%
H32	11.0	%	#N/A	%	#N/A		
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数		
	【KPI①】編入に向けて調整中であるため、浄化槽による汚水処理人口率の増しが見込めないこと。また、編入にあたっての他部局調整。 【KPI②】ごみの総排出量は増えているが、可燃ごみは減少傾向にある。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 1 E0点 0	6.72		
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数		
	【KPI①】合併浄化槽転換事業のPR。編入計画に向けたスケジュールの明確化。 【KPI②】ごみ袋の有料化による可燃ごみ・不燃ごみの排出量の抑制、リサイクルによる資源ごみの分別の徹底。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 9 C5点 D2.5点 0 E0点 0	7.34		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≒	総合評価(点数)
	42.50点 /50点	15.00点 /15点	15.00点 /15点	6.72点 /10点	7.34点 /10点		86.56点 /100点

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり				
	基本方針	基本方針7子どもたちの豊かな心と生きる力を育むまち		基本計画 K P I ①担当課	子ども支援課	
	基本計画	28. 幼児教育・保育の充実		担当及び K P I ②担当課	子ども支援課	
目的	心身ともに健康で主体的に活動できる園児を育成していく教育環境を整える。					
P D C A  ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO			
	(1)	教育内容と体制の充実	子ども支援課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75
	取組内容	四季をとおして豊かな自然環境を活かした活動や季節ごとの行事を取り入れるなどの体験の充実に努めた。地域子育て支援として園開放や相談事業を実施。			87.5	
	(2)	健康・安全管理の充実	子ども支援課	概ね計画調書通り取り組んでいる		75
	取組内容	通学路安全推進会議とともに、未就学児の集団移動経路の合同点検を実施。巡回支援相談員の活用により、発達障害の早期発見と適正な支援を継続的に実施。保健関係機関と連携し、いい歯いきいき教室など歯磨き指導や食育推進による健康管理を図った。			50%	
	(3)	家庭・地域・小学校との連携強化	子ども支援課	計画調書通り取り組んでいる		100
	取組内容	高齢者と園児の交流や公民館まつりへの参加、親子ふれあい活動など親子で一緒に体験できる行事を継続実施。幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校の連携会議を実施し、相互参観や情報交換の充実を図った。			点数	
	(4)	安全な施設・設備の整備	子ども支援課	計画調書通り取り組んでいる		100
	取組内容	定期的な遊具点検を実施し、点検結果による遊具の改修を行った。町立幼稚園・保育園において、大型空調機の冷媒漏洩点検を実施。			43.75	
	(5)					
取組内容						
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① ( D )	KPI	学校評価に関する調査において幼稚園に行くのを楽しみにしている園児の割合				達成率
	H32	75.0		単位	%	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	70.0	%	74.1	%	100.0%
	H29	71.0	%	71.3	%	100.0%
	H30	72.0	%	77.0	%	100.0%
	H31	73.0	%	73.0	%	100.0%
H32	75.0	%		%	#N/A	
目標② ( D )	KPI	園の運営に関する調査において現在の保育園に満足している保護者の割合				達成率
	H32	70.0		単位	%	92.6%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	62.0	%	55.0	%	88.7%
	H29	64.0	%	58.0	%	90.6%
	H30	66.0	%	58.5	%	88.6%
	H31	68.0	%	63.0	%	92.6%
H32	70.0	%		%	#N/A	
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】高い評価を維持できており、目標が達成できている。今後も、達成水準を維持するため、更なる資質向上を図り、子どもたちが園に行くのを楽しみにできるように努めていく。 【KPI②】割合が上がってはいるものの、保育ニーズにはまだまだ対応が及ばず、園運営や保育士の更なる資質向上が必要である。			課題の捉え方	点数	
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 更なる保護者や園児の実態把握に努め、保育内容やニーズの対応などについて前年度を踏まえ園全体で検証・検討を行い園運営に反映させる。 また、幼稚園、保育園、こども園、小学校と更なる連携を強化し、課題を共有することにより、幼児教育・保育の質の向上を図る。			解決・改善の捉え方	点数	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 88.12点 /100点
	43.75点 /50点	15.00点 /15点	13.90点 /15点	7.81点 /10点	7.66点 /10点	



# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり				
	基本方針	基本方針7子どもたちの豊かな心と生きる力を育むまち		基本計画 K P I ①担当課	学校教育課	
	基本計画	29 質の高い学校教育の推進		担当及び K P I ②担当課	学校教育課	
目的	児童生徒の誰もが確かな学力、健康な心身、豊かな心を育むことのできる教育環境を整える。					
P D C A  ( P D )	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	教育内容の改善・充実	学校教育課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0
	取組内容	確かな学力を身に付けるため、校内研修において指導力向上研修や資質向上研修をPDCAサイクルで実施し、教職員の指導力向上を図った。また、グローバルな人材育成のため、計画的にイングリッシュキャンプやハロウィンイベントを実施した。				
	(2)	学校運営の充実	学校教育課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	年2回の学校評価や人事評価制度により、教職員の自己課題の解決やキャリア段階に応じた職能成長、意欲の高揚、意識の改善につながり、学校運営の改善と教職員の資質向上を図ることができた。				
	(3)	学校給食の充実	学校教育課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%
	取組内容	食育を推進するため、児童・生徒にアンケート等を実施している。また地元食材を積極的に使用し、安全、安心な給食生活を提供している。				
	(4)	学校施設の整備	学校教育課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数
	取組内容	老朽化した高島小学校西校舎のトイレ改修工事や長柄小学校プレイルーム屋上防水改修工事などを行い、施設や設備の改善を図った。また、邑楽中学校及び長柄小学校の電話設備を更新することにより環境改善を図った。				
(5)					37.50	
取組内容						
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① ( D )	KPI	学校評価調査において、児童生徒が「勉強がわかる」と回答した割合				達成率
	H32	100.0		単位	%	90.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	95.0	%	92.5	%	15
	H29	95.0	%	89.9	%	13.50
	H30	100.0	%	89.2	%	
	H31	100.0	%	90.0	%	
H32	100.0	%		%	#N/A	
目標② ( D )	KPI	学校評価調査において、「学校が楽しいと子どもが言っている」と回答した保護者の割合				達成率
	H32	95.0		単位	%	95.9%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	90.0	%	93.6	%	15
	H29	90.0	%	92.8	%	14.38
	H30	95.0	%	91.9	%	
	H31	95.0	%	91.1	%	
H32	95.0	%		%	#N/A	
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①②の内容含む】 児童生徒にとってよりわかりやすく、楽しい授業を行うため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教職員の授業力向上を図るとともに、授業の効果を最大限に引き出すためのICT機器の整備とそれらを活用した授業改善を行っていくことが必要である。			課題の捉え方	点数	
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 ・管内の全小中学校の全ての普通教室に電子黒板を導入 ・全児童生徒に一人一台ICT端末を整備 ・教職員に対する資質向上研修及びICT研修の充実			解決・改善の捉え方	点数	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 81.17点 /100点
	37.50点 /50点	13.50点 /15点	14.38点 /15点	7.66点 /10点	8.13点 /10点	

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり					
	基本方針	基本方針8町民の学ぶ意欲と創造力を育むまち		基本計画 K P I ①担当課	生涯学習課		
	基本計画	30.社会教育の振興と生涯学習社会の推進		担当及び K P I ②担当課	生涯学習課		
目的	すべての町民が、生涯を通して、いつでも、どこでも学ぶことができる環境を整える。						
P D C A ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	生涯学習推進支援体制の充実	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	100.0	
	取組内容	ヤングプラザは、青少年のための福祉施設から地区公民館として教育行政の中に位置づける条例改正を行った。「小林平造勉強会」等社会教育や生涯学習の課題について町民と共に学び、考える事業を積極的に開催した。					
	(2)	社会教育指導体制の充実	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数	
	取組内容	全国・関東・県・東毛をはじめ、様々な研修会等に機関役員及び職員を参加させ、資質の向上に努めた。生涯学習課の職員1名が社会教育主事講習を受講し資格を取得した。					
	(3)	魅力ある生涯学習の展開	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	50%	
	取組内容	社会教育施設を中心に、様々な教室・講座等を開催し、町民の学習要求に応えた。特にコンサートや演劇公演など様々な事業に取り組み、既存の公民館等利用者の層を超えた新たな利用者層の掘り起こしに努めた。中央公民館の施設を活用した様々なジャンルの音楽やダンスなど、これまでにない年齢層の学習活動の掘り起こしが進んだ。					
(4)	社会教育事業の充実	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	点数		
取組内容	夜間や早朝など学級講座等の時間の工夫やテーマの工夫などにより、多彩な学習機会の提供に努めた。						
(5)					50.00		
(6)							
(7)							
目 標 ① ( D )	KPI	社会教育施設利用人数(社会体育施設を除く)				<p>(人) 指標 成果 達成率</p>	
	H32	130000.0		単位	人		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	121000.0	人	123945.0	人		100.0%
	H29	123000.0	人	132626.0	人		100.0%
	H30	125000.0	人	149713.0	人		100.0%
	H31	128000.0	人	148439.0	人		100.0%
H32	130000.0	人		人	#N/A		
目 標 ② ( D )	KPI	町立図書館の利用率				<p>(冊/人) 指標 成果 達成率</p>	
	H32	13.0		単位	冊/人		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	12.5	冊/人	12.4	冊/人		99.2%
	H29	12.7	冊/人	11.7	冊/人		92.1%
	H30	12.8	冊/人	12.0	冊/人		93.8%
	H31	12.9	冊/人	11.3	冊/人		87.6%
H32	13.0	冊/人		冊/人	#N/A		
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①②の内容含む】 少子高齢化が進み、また人口も減少しつつある中で、公民館等の社会教育施設利用者及び図書館利用者を増やしていくためには、比較的社会的施設の利用者の低い働き盛りの年齢層や中高生が参加しやすい曜日や時間帯等に配慮した事業展開が求められる。令和元年度は中央公民館開館1周年目であり、新規事業等が多く行われたが、今後揺り戻しが無いよう、継続的な取り組みが求められる。またスマホの普及による読書離れも深刻である。			課題の捉え方	点数		
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 人口減の状況の中でも社会教育施設利用者の増に成功しており、今後もこの方向性に確信を持ちつつ、現行事業の定着とさらに多様で個別の学習要求に特化した事業の展開を目指していく。読書離れへの対策については、時代の変化の中で特効薬的なものはなかなか見当たらないが、単に本を貸すだけでなく、リファレンスのさらなる充実など町の情報センターとしての町立図書館の機能を高めていく努力を行っていく。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	50.00点 /50点	15.00点 /15点	13.14点 /15点	8.13点 /10点	8.28点 /10点		94.55点 /100点

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり					
	基本方針	基本方針8町民の学ぶ意欲と創造力を育むまち			基本計画 K P I ①担当課	生涯学習課	
	基本計画	31_青少年の健全育成			担当及び K P I ②担当課	生涯学習課	
目的	地域社会全体で、成長の各段階において青少年を見守り、育てていく環境を整える。						
P D C A ( P D )	PLAN 施策の方向性			DO			
	(1)	青少年活動の推進	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	91.7	
	取組内容	各種青少年団体の事務局を抱える中央公民館を主体に、青少年団体への支援を着実にを行った。学校教育課と小学6年生～中学生を対象にしたおうらイングリッシュキャンプを実施した。また、中央公民館を拠点に活動する団体への中高生の参加、音楽やダンスなどの利用増大など、社会教育施設を利用する青少年も増えつつある。					
	(2)	青少年の社会参加の促進	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数	
	取組内容	小中学校の児童生徒が主体となった地域に対してのボランティア活動などを積極的に実施した。社会教育施設においても、青少年の体験・交流を主眼としたさまざまな事業を展開した。また、文部科学大臣表彰を受賞した障がい者おうら青年学級が、公民館まつりの模擬店出店や町民文化祭の舞台出演をし地域の社会参加をより促進させた。					
	(3)	青少年健全育成の環境づくり	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	学校教育・社会教育それぞれの場で、インターネットやSNSの危険から子ども達を守るための研修会等を数多く実施した。また、青少推などによる地道なパトロール活動なども年間を通じて実施することができた。					
	(4)					45.83	
	取組内容						
	(5)						
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① ( D )	KPI	放課後子ども教室の利用者数				R2から放課後子ども教室が自主活動になるため、KPI数値は少年講座参加者数に変更 (人) 指標 成果 達成率 	
	H32	3500.0		単位	人		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	3250.0	人	2880.0	人		88.6%
	H29	3300.0	人	1820.0	人		55.2%
	H30	3350.0	人	1625.0	人		48.5%
	H31	3400.0	人	1670.0	人		49.1%
H32	3500.0	人		人	#N/A		
目 標 ② ( D )	KPI	青年講座の参加者数				(人) 指標 成果 達成率 	
	H32	200.0		単位	人		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	170.0	人	146.0	人		85.9%
	H29	180.0	人	127.0	人		70.6%
	H30	190.0	人	133.0	人		70.0%
	H31	195.0	人	95.0	人		48.7%
H32	200.0	人		人	#N/A		
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数		
	【KPI①②の内容含む】 放課後子ども教室は、令和2年度から自主的な活動に移行しており、令和2年度からは、少年講座の参加者数をKPIとする。ただし、共通して青年層の施設離れ、事業離れは深刻であり、長期にわたって減少傾向が続いている。より若者の興味関心に寄り添った事業展開が必要であると共に、単に参加者を増やすだけでなく、彼らの抱えている課題の解決に役立つような情報提供や事業の実施も求められる。また、現在の若者の指向を考えると、団体活動への参加を増やすには限界があり、個人がつながり合うような事業展開を考えていく必要がある。			A～Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	8.44		
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数		
	【KPI①②の内容含む】 放課後子ども教室は、令和2年度から自主的な活動に移行しており、令和2年度からは、少年講座の参加者数をKPIとする。中央公民館の開館を契機に、より若者が集まりやすい場の提供や発表機会の提供などに引き続き取り組んでいく。また、SNSの活用など、現代の若者の実態に即したPR方法なども検討していく。			A～Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.19		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	
	45.83点 /50点	7.37点 /15点	7.31点 /15点	8.44点 /10点	7.19点 /10点		総評価(点数) 76.14点 /100点



令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり					
	基本方針	基本方針8町民の学ぶ意欲と創造力を育むまち		基本計画 K P I ①担当課	生涯学習課		
	基本計画	32.スポーツの振興		担当及び K P I ②担当課	生涯学習課		
目的	町民の誰もが生涯にわたって心身の健康を維持できるように、スポーツに取り組むことのできる環境を整える。						
P D C A ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	生涯スポーツ普及・促進	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0	
	取組内容	年齢や性別に関わらず町民誰もが参加しやすい各種スポーツ教室を実施した。教室をきっかけに年間登録団体となったクラブもできた。町主催大会だけではなく体育協会やスポーツ少年団が主催する各種大会・スポーツ行事を支援し、多くの町民にスポーツに親しむ機会を提供した。					
	(2)	スポーツ施設の整備・充実	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	松本公園防球ネット設置工事やスポーツ・レクリエーション広場防球ネット設置工事、人工芝メンテナンス工事、青少年広場と緑ヶ岡公園ナイター照明修繕工事を行うなど、施設の改善、適切な維持管理に努めた。					
	(3)	スポーツ団体の選手育成	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	スポーツ少年団への支援を行うと共に、競技優秀者への表彰・顕彰を行った。					
	(4)	指導者の育成・派遣	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	スポーツ推進委員は、県等が実施する研修に参加し、資質の向上に努めた。また、スポーツ少年団指導者研修会やスポーツ推進大会で実績のある講師による講習会・研修会を開催し、指導者の育成に努めた。					
(5)					37.50		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① ( D )	KPI	社会体育施設の利用者数				達成率	
	H32	220000.0		単位	人	92.1%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	211000.0	人	228317.0	人	100.0%	15
	H29	212500.0	人	226227.0	人	100.0%	点数
	H30	215000.0	人	223948.0	人	100.0%	13.81
	H31	217500.0	人	200301.0	人	92.1%	
H32	220000.0	人		人	#N/A		
目標② ( D )	KPI	各種スポーツ教室における参加者数				達成率	
	H32	800.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	700.0	人	889.0	人	100.0%	15
	H29	725.0	人	692.0	人	95.4%	点数
	H30	750.0	人	804.0	人	100.0%	15.00
	H31	775.0	人	1010.0	人	100.0%	
H32	800.0	人		人	#N/A		
分析 ( C )	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
	【KPI①②の内容含む】 高齢化、少子化の影響は顕著で、各種のスポーツ大会参加者は激減しており、大会の開催が難しくなっている。既存のスポーツだけではなく新たな種目の掘り起こしや利用できる環境整備が求められる。				A~Eの5段階評価 A10点 3 B7.5点 10 C 5点 3 D2.5点 0 E 0点 0	7.50	
改善 ( A )	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①②の内容含む】 より幅広い町民が生涯を通じてスポーツに親しむような地域づくりを念頭に置きながら、事業計画を進めていく。既存競技だけではなく、年齢や性別、障がいの有無に関わらず参加しやすいスポーツ教室や大会、利用しやすい施設整備に努める。				A~Eの5段階評価 A10点 4 B7.5点 10 C 5点 1 D2.5点 1 E 0点 0	7.66	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 81.47点 /100点	
	37.50点 /50点	13.81点 /15点	15.00点 /15点	7.50点 /10点	7.66点 /10点		

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり					
	基本方針	基本方針9地域の歴史・文化を守り育むまち			基本計画 K P I ①担当課	生涯学習課	
	基本計画	33_文化財の保護と活用			担当及び K P I ②担当課		
目的	先人たちの遺した数多くの貴重な文化財を後世に伝えるとともに、生まれ育った郷土の歴史・文化財を知ることで郷土愛を育む町とする。						
P D C A  ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	文化財の保護・保存	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	66.7	
	取組内容	区長会の協力のもと、各地区で行われているお祭りや行事の現状を確認報告してもらい、現時点での邑楽町伝統文化マップを作成しました。また、県指定天然記念物の高島小学校のトウグミにスルメタケという菌類が出てきたことから、県補助金を活用し除去のための樹木医による養生を行い保全に努めました。同じ天然記念物の中野沼では、マミズクラゲ発生基礎資料とするために、水温記録装置を設置することや山梨県立富士湧水の里水族館の調査に協力し情報交換を行いました。建築物では、長柄神社及び慶徳寺山門に対して消火器具の更新を行いました。また、両寺社に対しての群馬県が実施した近世寺社総合調査の本調査への協力、同じく県調査である古河往還の現地踏査に協力しました。埋蔵文化財では、周知の遺跡地内での開発行為にかかる届出の受理、指導及び確認試掘調査を行い、埋蔵文化財の保護を行いました。民具を中心とした有形民俗文化財の間合せがあり、11件の寄付を受け、保存を図りました。					
	(2)	文化財の活用と啓発	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	指定文化財展では「統後の邑楽町」をテーマに特別展を開催しました。また中央公民館の文化財常設展示では、内容を更新しました。指定文化財展では、来場者に邑楽町伝統文化マップを配布し、地域の祭りや行事などへの啓発を行いました。また、広報おうらに、文化財保護調査委員執筆による「大好き文化財」を連載し文化財の存在をお知らせすること、及び中野沼での外来魚駆除大作戦も継続的に実施し、文化財の活用と啓発に努めました。					
	(3)	文化財保護推進体制の整備	生涯学習課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	文化財保護調査委員はそれぞれの専門分野に別れバランスよく委嘱することができており体制は充実しています。職員については、専門的な知識を持つ人材が不足していることから、積極的に文化財に関する研修への参加を行いました。文化財の保護やその啓発活動に関して、町民ボランティアの組織化を図り協力体制を築く必要がありますが、組織化には至っていません。					
	(4)					点数	
	取組内容						
	(5)					33.33	
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① ( D )	KPI	指定文化財展来場者数				達成率	
	H32	550.0		単位	人	88.7%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	510.0	人	352.0	人	69.0%	26.61
	H29	520.0	人	338.0	人	65.0%	
	H30	530.0	人	600.0	人	100.0%	
	H31	540.0	人	479.0	人	88.7%	
H32	550.0	人		人	#N/A		
(人)							
目 標 ② ( D )	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28				#N/A	—	
	H29				#N/A		
	H30				#N/A		
	H31				#N/A		
H32				#N/A			
(人)							
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】一時的な特別展であれば、展示物の大きさにかかわる展示スペース確保は、問題はありませんが、常設展示に関して、中央公民館文化財展示スペース(ケース)では、展示物の大きさに制限がかかってしまい、ある程度の展示スペースが必要な文化財(特に民具)を展示することができません。民具は、昔の暮らしの学習で学ぶ身近に残されている物ですが、現状では常に見ることができません。また、寄付の間合せを受けますが、適切に保存ができる場所やその広さに限りがあり、全てを受け入れることができません。			課題の捉え方	点数		
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】小学校の学習で学ぶことの多い昔の暮らしに関わる道具類を中心とした民具を常設展示できるスペースの確保や、適切な保存ができる場所の確保を進め、求めに応じて利用できるよう整理する必要があります。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 74.32点 /100点	
	33.33点 /50点	26.61点 /30点	— 一点	7.66点 /10点	6.72点 /10点		

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり					
	基本方針	基本方針9地域の歴史・文化を守り育むまち		基本計画 K P I ①担当課	生涯学習課		
	基本計画	34.芸術文化の振興		担当及び K P I ②担当課	生涯学習課		
目的	芸術文化活動を通じて、町民同士や他市町村の住民との間で共感と交流を広げ、心豊かで文化の薫り高いまちづくりを進めていく。						
P D C A ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	芸術・文化活動の推進	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	100.0	
	取組内容	文化芸術創造事業及び文化芸術鑑賞事業として、中央公民館を中心に様々な著名人を招聘したコンサートなどの事業を積極的に展開し、多くの来場者を得た。また、県の補助金を活用しながら、幼稚園・保育園・小中学校などへのアウトリーチ(出張コンサート等)を実施し、子どもたちが本物の芸術に触れる機会を提供した。					
	(2)	文化活動の拠点となる施設の建設及び活用	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数	
	取組内容	中央公民館建設事業は、平成30年度に完成及び引き渡しとなった。文化協会や公民館利用団体などを中心に、活発な利用と発表の場として大いに活用することができた。邑楽町周辺で活動している様々な文化団体の利用により、他市町の施設に行かなくても、身近で鑑賞することができた。					
	(3)	新たな文化創造への取組	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	50%	
	取組内容	中央公民館開館準備事業及び中央公民館開館記念事業から発展した、おうら虹色カーニバルは、町にゆかりのあるアーティストの協力を得て実施した。また、その関連事業としてクラシックジャズやクラシックバレエ、南米音楽など多彩な文化を住民と共に実施できた。					
	(4)					点数	
	取組内容						
(5)					50.00		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① ( D )	KPI	中央公民館ホールの利用者数			開館がH30のため、準備事業に取組んでいる場合指標H29までを1人とする	達成率	
	H32	20000.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	1.0	人	1.0	人	100.0%	15
	H29	1.0	人	1.0	人	100.0%	点数
	H30	10000.0	人	24858.0	人	100.0%	15.00
	H31	18000.0	人	36101.0	人	100.0%	
H32	20000.0	人		人	#N/A		
目標② ( D )	KPI	芸術文化鑑賞・体験活動の参加者数				達成率	
	H32	10000.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	7200.0	人	8580.0	人	100.0%	15
	H29	7900.0	人	9909.0	人	100.0%	点数
	H30	8600.0	人	19837.0	人	100.0%	15.00
	H31	9300.0	人	9751.0	人	100.0%	
H32	10000.0	人		人	#N/A		
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数		
【KPI①②の内容含む】 芸術文化の振興には、専門的な知見を持ち、長期的な展望を備えた専門家の存在とそのリードのもとでの計画的なアプローチが必要だが、職員には個々の芸術分野における専門的なスキルがない。そのため、経験豊富な臨時職員と、町にゆかりのあるアーティストや多くの町民の参画と協力を得て実施することができた。また、長期的な視点から今後どのように事業を組んでいくのか、検討が必要である。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 9 C5点 D2.5点 1 E0点 0	8.13			
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数		
【KPI①②の内容含む】 多くの町民やアーティストの積極的な参加があったことにより、大きな成果が得られたと評価している。来年度以降もこの流れを途切れさせることなく、さらに幅広い町民の参加とレベルアップを図っていくとともに、より専門的な見地から企画・運営ができるよう、芸術文化の専門的な知見を有している職員の雇用や育成を図っていく必要がある。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 7 C5点 2 D2.5点 1 E0点 0	7.81			
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≒	総合評価(点数)
	50.00点 /50点	15.00点 /15点	15.00点 /15点	8.13点 /10点	7.81点 /10点		95.94点 /100点



# 令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり					
	基本方針	基本方針10共生社会を実現するまち		基本計画 KPI①担当課	企画課		
	基本計画	35.多文化共生・国際化の推進		担当及び KPI②担当課			
目的	国際社会のなかで互いの文化を理解し合える広い視野をもった人材を育成できる環境を整える。また、外国籍住民が安心して暮らせる環境を整える。						
P D C A  ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	多言語等による情報提供の充実	企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	75.0	
	取組内容	町ホームページなどで、申請やイベント情報などの町行政情報を多言語で発信した。また、面前的での多言語対応が出来るよう翻訳機の導入を図ると共に、国や県からの防災情報等を取得できる多言語対応アプリの情報提供を行った。					
	(2)	防災及び災害時への対策	安全安心課	一部取り組んでいる	50	×係数	
	取組内容	防災情報の多言語化については、無料の防災アプリの使用を想定している他、放送事業者と連携し、多言語災害情報を閲覧できる特設サイトが開設された際に、開設情報を町ホームページや避難所への掲示等で情報提供を行う体制を整えた。また外国人の防災訓練参加については、自治会に参加している外国人が少なく、参加があってもごく少数にとどまっている。					
	(3)	保健・医療に関する支援	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	外国籍の住民には、乳幼児健診などの通知は多言語化し発送しました。また、予防接種の翻訳をダウンロードするなどの情報提供に努めました。殊に、ビザ切れ等で住民票がない乳幼児に対しても感染症予防の観点から予防接種や乳幼児健診が受診できるようにしました。健診未受診や養育力に欠ける外国人世帯に対しては家庭訪問による支援等を行いました。					
	(4)	人権啓発活動の推進	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	外国人住民などお互いの人権を尊重し合う「心のバリアフリー」を推進し、支え合う共生社会を実現するため、人権の大切さを正しく理解し、認識を一層深め、地域住民が考えるきっかけになるよう、人権尊重思想の普及高揚啓発活動の一環として、人権啓発活動講演会を開催した。					
(5)	交流機会の充実と多文化共生意識の向上	総務課(学教・生涯)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	37.50		
取組内容	外国籍住民の転入又は町内転居時に区長の連絡先等を紹介することで、自治会加入の促進を図った。						
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① ( D )	KPI	国際交流の推進の満足度					
	H32	30.0		単位	%		達成率
	年度	指標	成果	達成率			84.0%
	H28	30.0	%	20.0	%		66.7%
	H29	30.0	%	20.0	%		66.7%
	H30	30.0	%	20.0	%		66.7%
	H31	30.0	%	25.2	%		84.0%
H32	30.0	%		%	#N/A		
目 標 ② ( D )	KPI						
	H32			単位			達成率
	年度	指標	成果	達成率			—
	H28						100.0%
	H29						50.0%
	H30						0.0%
	H31						—
H32					—		
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】・国際情勢及び社会情勢が不安定なため、海外研修や留学等の事業推進が難しい状況にある。 ・急激なグローバル化の進展により、国際社会への協力とともに多文化共生社会への対応が求められている。			課題の捉え方	点数		
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】・2020年東京オリンピック開催を、国際交流推進への好機と捉え、ホストタウン及び共生社会ホストタウン登録への取組を行う。ホストタウン登録を契機に、相手国オリパラ選手や関係者とのスポーツ・文化交流を実施し、多文化共生社会の実現を目指す。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 77.39点 /100点	
	37.50点 /50点	25.20点 /30点	— 一点	7.19点 /10点	7.50点 /10点		

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり					
	基本方針	基本方針10共生社会を実現するまち		基本計画 KPI①担当課	住民課		
	基本計画	36 人権の尊重・男女共同参画社会の推進		担当及び	KPI②担当課		
目的	すべての町民が一人ひとりの人権を尊重した考えと行動をとることができる社会を実現する。						
P D C A ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	計画的な事業推進	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	80.0	
	取組内容	すべての町民が一人ひとりの人権を尊重した考えと行動をとることができ、偏見や差別のない平和で豊かな明るい社会の実現に向けて、「邑楽町人権教育・啓発の推進に関する基本計画」を策定した。その後も継続して、邑楽町人権教育・啓発の推進に関する基本計画推進懇談会を開催し、基本計画策定後の進捗状況等についての検証を行った。					
	(2)	人権教育の推進	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数	
	取組内容	人権教育推進協議会や集会所事業運営委員会を定期的に開催し事業の推進を図った。また、県の委託を受けて邑楽町人権教育指導者養成講座事業を開設し、県や郡、町部局、関係団体と連携して人権問題に関するさまざまな講座を開催した。今年度も、人権啓発作品の募集と啓発への活用を行った。優秀作品の巡回展と作文の朗読発表の場を例年より増やし、また新たに標語の優秀作品を活用したメモ帳を作成し啓発に活用した。					
	(3)	人権啓発の推進	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	誰もがお互いの人権を尊重し合う「心のバリアフリー」を推進し、支え合う共生社会を実現するため、人権の大切さを正しく理解し、認識を一層深め、地域住民が考えるきっかけになるよう、人権尊重思想の普及高揚啓発活動の一環として、人権啓発活動講演会を開催した。					
	(4)	相談・支援業務の充実	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	弁護士による定例の法律相談については、相談時間などの実施方法を検討しながら月1回実施し、加えて、群馬弁護士会による無料法律相談も10月に1回実施した。また、女性特有の相談(離婚・DV等)に対して、女性の相談者が相談しやすい場を提供するため、大泉町・千代田町・邑楽町3町合同で女性弁護士による法律相談を月1回実施した。					
(5)	関係機関との連携	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	40.00		
取組内容	国や県、東毛地域人権啓発ネットワーク協議会を通じて市町村間の連携を図った。また他の相談事業については、関係機関と綿密な連携を図りながら、相談体制の強化に努めた。						
(6)							
(7)							
目標① ( D )	KPI	人権啓発講演会の参加者数				達成率	
	H32	200.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	200.0	人	168.0	人	84.0%	
	H29	200.0	人	109.0	人	54.5%	
	H30	200.0	人	221.0	人	100.0%	
	H31	200.0	人	440.0	人	100.0%	
H32	200.0	人		人	#N/A		
目標② ( D )	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					100.0%	
	H29					50.0%	
	H30					50.0%	
	H31					0.0%	
H32					0.0%		
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】人権啓発講演会については、新しく開館した中央公民館で行う事ができ、440人という多くの町民の参加を得ることができた。今後も多くの町民の方々に参加していただけるよう、広報紙やホームページ、ツイッターなどで幅広く広報するとともに、事業への関心を継続させるため、事業の内容に即した講師の選定や講演料との兼ね合いが必要となってくる。			課題の捉え方	点数		
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】周知の方法については、多くの町民が講演会に参加できるよう、広報紙やホームページ等の活用や各種団体へのチラシの配布など、できる限りの周知を行う。 また、人権に対し町民意識を向上させ、ぜひ参加したいと思わせる講師を選定する。			解決・改善の捉え方	点数		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	
	40.00点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.81点 /10点	6.72点 /10点		総合評価(点数) 84.53点 /100点

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり				
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち		基本計画 K P I ①担当課	総務課	
	基本計画	37 地域コミュニティ活動の推進		担当及び K P I ②担当課		
目的	町民が地域と触れ合って、交流活動が活発化し、お互いが助け合う住みよい地域社会を実現する。					
P D C A  ( P D )	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	行政区活動への支援	総務課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	68.8
	取組内容	各区長及び住民からの行政区活動について随時相談等に応じ、情報共有を図り、防災意識等を高めるために視察研修や行政区相互の交流の機会に努めた。				
	(2)	地域コミュニティ活動の支援	総務課(企画)	一部取り組んでいる	50	×係数
	取組内容	地域文化活動等の地域づくりに対する助成制度の周知に努めた。				
	(3)	地域集会施設の整備推進	総務課(企画)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%
	取組内容	行政区からの依頼が多い「邑楽町地域集会施設建設事業補助金」についての周知・助言・指導を行った。				
	(4)	町民コミュニティ活動の推進	商工振興課(生涯)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数
	取組内容	シンボルタワー手作りミニショップに出店している町民の皆さんが、自発的にワークショップや特別販売等を企画運営し始めている。産業際においても、皆さんに参画していただき、町としてもその取組の支援が図れた。				
(5)					34.38	
取組内容						
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目 標 ① ( D )	KPI	地域集会施設建設事業補助金取組率				達成率
	H32	100.0		単位	%	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	60.0	%	67.6	%	30
	H29	70.0	%	75.0	%	点数
	H30	80.0	%	85.0	%	100.0%
	H31	90.0	%	95.0	%	30.00
H32	100.0	%		%	#N/A	
目 標 ② ( D )	KPI					達成率
	H32			単位		—
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28					—
	H29			#N/A		100.0%
	H30			#N/A		50.0%
	H31			#N/A		0.0%
H32			#N/A		—	
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数	
	【KPI①】地域集会施設建設事業補助金よりも補助率の高い他団体からの助成金もあることから、適切な制度を選択してもらうために、補助を希望する行政区から要望の聞き取りを詳細に行う必要があった。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.03	
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①】今後も詳細な聞き取り、適切な補助金制度を選択してもらうための助言を行う。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.56	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 77.97点 /100点
	34.38点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.03点 /10点	6.56点 /10点	



令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり				
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち		基本計画 KPI①担当課	企画課	
	基本計画	38_情報共有と町民参画の推進		担当及び KPI②担当課	企画課	
目的	効果的な広報・広聴活動により、町民と行政が情報を共有し町政への参画機会の充実と町民の声が反映される町とする。					
P D C A  ( P D )	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	広報・広聴活動の充実	企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	58.3
	取組内容	広報紙の紙面の充実を図るとともに、ホームページの掲載内容が充実するよう各課へ働きかけた。新たに公式ツイッターを導入し、情報発信を強化した。				
	(2)	町の魅力の発信とイメージ向上	企画課	一部取り組んでいる	50	×係数
	取組内容	広報紙、ホームページ、おうらお知らせメール、公式ツイッター、ケーブルテレビなどのメディアを有効に活用し、積極的な情報発信に取組んだ。				
	(3)	町政への参画の充実	企画課	一部取り組んでいる	50	50%
	取組内容	町への意見(問い合わせフォーム、ご意見箱)への回答を行った。担当課の回答も確認し回答率の維持に努めた。パブリックコメントを6件取り扱った。				
	(4)					点数
	取組内容					29.17
(5)						
取組内容						
(6)						
(7)						
取組内容						
目標① ( D )	KPI	広報・広聴に寄せられる意見への対応率				達成率
	H32	100.0		単位	%	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	100.0	%	100.0	%	15
	H29	100.0	%	100.0	%	100.0%
	H30	100.0	%	100.0	%	100.0%
	H31	100.0	%	100.0	%	100.0%
H32	100.0	%		%	#N/A	
目標② ( D )	KPI	おうらお知らせメールの登録件数				達成率
	H32	3200.0		単位	件	40.6%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	3000.0	件	2980.0	件	15
	H29	3050.0	件	3220.0	件	100.0%
	H30	3100.0	件	999.0	件	32.2%
	H31	3150.0	件	1278.0	件	40.6%
H32	3200.0	件		件	#N/A	
分析 ( C )	CHECK				策定委員会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数
	【KPI①】町への意見(問い合わせフォーム、ご意見箱)への回答が、されたことの確認に時間を要してしまうことがあったが、どの意見に対しても回答の確認を実施した。 【KPI②】おうらお知らせメールの登録者数増加のため、広報紙やおうら祭りなどでPRを行ったが、登録者数の伸びが思わしくなく、リニューアル前の半数にも至らなかった。				A~Eの5段階評価 A10点 3 B7.5点 9 C5点 4 D2.5点 0 E0点 0	7.34
改善 ( A )	ACTION				策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数
	【KPI①】回答を情報政策係に転送してもらうよう常に呼びかけを行う。 【KPI②】全世帯に配布される強みを生かし、広報紙の特集などに合わせて登録についての記事を年間3回以上掲載できるようにする。また、窓口で登録の補助をすることも合わせて周知する。				A~Eの5段階評価 A10点 1 B7.5点 13 C5点 2 D2.5点 0 E0点 0	7.34
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)
	29.17点 /50点	15.00点 /15点	6.09点 /15点	7.34点 /10点	7.34点 /10点	

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり				
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち		基本計画 K P I ①担当課	企画課	
	基本計画	39.協働のまちづくりの推進		担当及び K P I ②担当課	企画課	
目的	町民参加の制度や機会を充実させるとともに、協働による町民の自主的なまちづくり活動を推進する町とする。					
P D C A  ( P D )	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	まちづくりの人材育成	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	100.0
	取組内容	まちの文化芸術の振興と生涯学習の推進のために、中央公民館では新たに公民館事業の企画や運営を住民参画で行うボランティアグループが立ち上がった。実際に、9月から7事業について公民館職員と一緒に取り組みを行った。また、中央公民館開館1周年記念事業では、アーティストと住民有志の実行委員会が組織され、行政職員と一緒に事業を展開した。				
	(2)	協働のまちづくり活動の推進	企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数
	取組内容	地域課題解決に対して、より多くの団体が取組みを行ってもらえるよう、広報おうら及び区長会定例会において事業説明を行った。結果、新規の6団体を含む10団体が、「協働のまちづくり活動支援事業補助金」を活用し、地域課題解決を図った。(事業総額954,345円に対して、協働のまちづくり活動支援事業補助金617,000円を交付)				
	(3)	情報の公開と地域課題の共有化	企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	50%
	取組内容	町広報紙・ホームページ・お知らせメール等で、行政情報を分かりやすく発信し、情報公開及び情報共有に努めた。また、地域課題解決にむけて、住民・住民団体と話し合い情報共有をするとともに、協働への環境形成に努めた。				
	(4)	事業の透明性と評価・改善	企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	点数
	取組内容	協働のまちづくり活動団体の取組実績を町ホームページで公表し、地域課題や行政課題への取組・効果等について情報共有し、事業改善・拡充に努めた。				
(5)					50.00	
取組内容						
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① ( D )	KPI	まちづくりへ参加希望の町民の割合				達成率
	H32	30.0		単位	%	58.7%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	30.0	%	16.0	%	53.3%
	H29	30.0	%	16.0	%	53.3%
	H30	30.0	%	16.0	%	53.3%
	H31	30.0	%	17.6	%	58.7%
H32	30.0	%		%	#N/A	
					8.80	
目標② ( D )	KPI	協働のまちづくり実施事業数				達成率
	H32	10.0		単位	件	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	6.0	件	5.0	件	83.3%
	H29	6.0	件	4.0	件	66.7%
	H30	7.0	件	11.0	件	100.0%
	H31	8.0	件	10.0	件	100.0%
H32	10.0	件		件	#N/A	
					15.00	
分析 ( C )	CHECK				策定委員会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】文化・社会活動においては、広く町民参加を呼びかけたまちづくりが実践できているが、町全体では団体役員のあて職での協議会や会議が多く、十分には実践できていない。 【KPI②】町広報紙、HP、区長会定例会で周知した結果、地域課題解決に取り組む新規団体が増加している。				課題の捉え方	点数
改善 ( A )	ACTION				策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】町民がまちづくりについて考える機会や意識啓発を図るため、まちづくり先進自治体を研究する。 【KPI②】広報紙やHPなどで事業周知を図っていくとともに、区長会などの団体の会議においても説明・参加を継続して呼びかけていく。				解決・改善の捉え方	点数
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 87.86点 /100点
	50.00点 /50点	8.80点 /15点	15.00点 /15点	7.03点 /10点	7.03点 /10点	

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり					
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち			基本計画	KPI①担当課 企画課	
	基本計画	40_情報通信技術(ICT)の推進			担当及び	KPI②担当課	
目的	ICTを活用し、迅速で効率的な事務執行を図るとともに、より質の高い行政サービスを提供する町とする。						
P D C A  ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	行政サービスの近代化・効率化	企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	68.8	
	取組内容	「第4次ぐんま電子申請システム」に参加し、令和元年9月に供用開始した。申請できる案件については、庁舎内へ周知し企画課で随時対応した。					
	(2)	行政事務の近代化・効率化	企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	令和元年4月1日より、住民情報システムの共同利用が開始された。また、職員の事務用のシステムの共同利用についても協議を開始した。					
	(3)	情報セキュリティ体制の強化	企画課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	群馬県警主催のサイバーセキュリティ研修などに参加し、技術的、理論的に情報セキュリティに対する知識を深めた。					
	(4)	情報教育の推進	学校教育課(生涯)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	授業で使用する教師用タブレット及びプロジェクターを各校に数台配備し、実際の授業において活用を開始した。また、教育研究所のICT活用研究班において、授業におけるICT機器の有効的な活用法について研究を行った。					
(5)					34.38		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① ( D )	KPI	町HPを活用した電子申請数				達成率	
	H32	60.0		単位	件	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	30.0	件	16.0	件	53.3%	30
	H29	35.0	件	39.0	件	100.0%	点数
	H30	40.0	件	57.0	件	100.0%	
	H31	50.0	件	84.0	件	100.0%	30.00
H32	60.0	件		件	#N/A		
目 標 ② ( D )	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					100.0%	—
	H29					50.0%	—
	H30					0.0%	—
	H31					0.0%	—
H32					0.0%	—	
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】電子申請が利用できそうな案件について、積極的に導入の呼びかけを行ったが、各課の反応がいまいちであった。個別に導入の検討をするように働きかけ、対象案件を4件取り扱うことができた。導入するためのハードルの低さを見せる工夫が必要。			課題の捉え方	点数		
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】対象案件を増やすだけでなく、町民に利用してもらえよう、ホームページやツイッターなどを利用し、電子申請の利便さや使いやすさなどを分かりやすく周知する。			解決・改善の捉え方	点数		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 78.44点 /100点	
	34.38点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.03点 /10点	7.03点 /10点		



令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり					
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち		基本計画 K P I ①担当課	総務課		
	基本計画	41 効率的・効果的な行政運営の推進		担当及び K P I ②担当課			
目的	時代に適応した組織体制の構築と職員の資質向上により「組織力」を高めるとともに、施設の適正な管理や事業の選択と集中による効率的かつ効果的な行政運営を実現する。						
P D C A ( P D )	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	効率・効果的な行政運営の確立	住民課(全課)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	85.0	
	取組内容	【KPI①】住民のニーズに合った窓口サービスを行うため、窓口における来庁者のワンストップ化を目指すと共に、関係各課との連携を密にし案内漏れをなくした。また、個人情報等が不正に使われないように、本人確認を徹底し、個人情報の保護に万全な体制で臨んだ。					
	(2)	機能的な組織の構築と職員の資質向上	総務課(企画)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	県や町村会が主催する研修会へ職員を派遣したり、町独自で職員研修会を実施して職員の資質向上を図った。また、各所属長から職場の問題点を聞き取り、機能的な組織構築に努めた。					
	(3)	計画的な事業の執行と行政評価の推進	企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	50%	
	取組内容	総合計画・総合戦略・行政改革の進捗状況及び事業成果を集約した。また、事業成果等について課長会において内部評価を行い事業のブラッシュアップを図った。					
	(4)	公共施設の適正な管理	総務課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	個別施設計画の作成及び総合管理計画の改訂を行った。個別施設計画を作成したことにより、交付税措置のある公共施設等適正管理推進事業債を活用し、実施計画における優先順位の高い改修工事を行った。					
(5)	民間活力の活用	企画課(全課)	計画調書通り取り組んでいる	100	42.50		
取組内容	(株)郵宣協会と継続して広告入り公用封筒の作成及び無償提供に関する協定書を更新し、これまで公費負担していた公用封筒を民間ノウハウを活用し無償で取得することができた。						
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① ( D )	KPI	職員研修参加者数				達成率	
	H32	580.0		単位	人	81.3%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	530.0	人	173.0	人	32.6%	30
	H29	540.0	人	364.0	人	67.4%	点数
	H30	550.0	人	545.0	人	99.1%	24.38
	H31	560.0	人	455.0	人	81.3%	
H32	580.0	人		人	#N/A		
目標② ( D )	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28				#N/A	—	
	H29				#N/A	—	
	H30				#N/A	—	
	H31				#N/A	—	
H32				#N/A	—		
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数		
	【KPI①】日常業務に追われ、研修会に参加できない部署が見受けられる。また、今後も業務量の増加や複雑化が予想され、人員不足が懸念される。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 0 E0点 0	6.88		
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数		
	【KPI①】町独自の研修会を増やし、少しでも研修会へ参加しやすい環境を整えたい。また、定員管理を行いながら適切な人員配置に努めたい。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 0 E0点 0	6.56		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 80.32点 /100点	
	42.50点 /50点	24.38点 /30点	— 一点	6.88点 /10点	6.56点 /10点		

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり					
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち		基本計画 K P I ①担当課	税務課		
	基本計画	4.2 財政運営の健全性の確保		担当及び K P I ②担当課			
目的	社会経済情勢の変化や本町の実情に対応し、中長期的な展望に立った健全で計画的な財政運営を行う町とする。						
P D C A ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	計画的な財政運営	担当課 総務課	取組状況 概ね計画調書通り取り組んでいる	進捗 75	進捗平均 81.3	
	取組内容	公共施設個別施設計画策定及び総合管理計画の改訂を行った。実施計画通りの事務執行を行うことが出来た。					
	(2)	財源(歳入)の確保	税務課(総務・企画)	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数	
	取組内容	個人住民税では、特別徴収の一斉指定が3年目を迎え、より確実な実施に取り組んだ。固定資産税では平成29年度に委託した地目判読作業を基に令和元年度も継続して課税の見直しを実施した。滞納処分では、預貯金・給与などの差押強化を行い、滞納額の圧縮と財源確保に努めた。					
	(3)	公有財産の適正管理	総務課(会計)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	売り払い等は行えなかったが、未利用の公有財産の一部を貸し付けることにより、有効活用をすることが出来た。					
	(4)	経費の削減と使用料の適正化	総務課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	今年度も経常経費についての予算について、実績に基づいた予算編成を行うことが出来た。補助金審査委員会を開催し、新規及び既存補助金に対して検討を行い、妥当性、有効性の検討を行うことが出来た。					
	(5)					40.63	
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① ( D )	KPI	収納率				<p>(%) 指標 成果 達成率</p> <p>100.0% 95.0% 90.0% 85.0%</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	達成率
	H32	95.0		単位	%		100.0%
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28	91.0	%	91.1	%		100.0%
	H29	92.0	%	91.8	%		99.8%
	H30	93.0	%	93.1	%		100.0%
	H31	94.0	%	94.1	%		100.0%
H32	95.0	%		%	#N/A		
目標② ( D )	KPI					<p>0 1.0 0.5 0.0</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	達成率
	H32			単位			—
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28						—
	H29						—
	H30						—
	H31						—
H32					—		
分析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】特別徴収の一斉指定について、適正に運用しない事業所の把握及び指導方法に課題がある。また、土地の地目判読については、定期的な調査が必要である。			課題の捉え方	点数		
改善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】特別徴収の一斉指定については、県や近隣市町との情報共有及び指導強化が必要である。また、固定資産税については、職員による現地調査を継続して実施し、適正課税に努める必要がある。			解決・改善の捉え方	点数		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 84.38点 /100点	
	40.63点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.03点 /10点	6.72点 /10点		

令和元年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり						
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち		基本計画 KPI①担当課	企画課			
	基本計画	43 広域行政の推進		担当及び KPI②担当課				
目的	広域化する町民ニーズに対して、町域を越えた行政サービスの向上と、課題解決に向けた広域的視点に立った体制を整える。							
P D C A  ( P D )	PLAN 施策の方向性		DO					
	(1)	事務組合の推進と強化	担当課	取組状況	進捗	進捗平均		
	取組内容	太田市外3町広域清掃組合による、ごみ処理の広域化を推進する新焼却炉の建設が、令和3年4月の稼動に向けて着実に工事が進んでいる。			計画調書通り取り組んでいる	100	100.0	
	(2)	広域協議会などによる連携	企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数		
	取組内容	両毛広域管内の自治体と連携して、両毛地域への集客・交流を図り一体的な都市圏整備の気運醸成を図るため「両毛グルメシールラリー(参加店舗を巡ってご当地シールをもらい、その枚数によって豪華賞品に応募できるイベント)」を実施し、多くの交流人口を生み出した。※応募者数 1,911人(町内92人)※邑楽町シール発行枚数1,449枚(構成自治体中2位)					50%	
	(3)	新たな行政課題への対応	企画課(総務)	計画調書通り取り組んでいる	100			
	取組内容	定住人口確保にむけ、群馬県及び県内自治体とともに移住者相談会を東京都内(有楽町)で開催した。移住希望者に対して、子育て施策を中心に町の各種施策を説明し、町のPRを行った。						
	(4)					点数		
	取組内容						50.00	
	(5)							
取組内容								
(6)								
取組内容								
(7)								
取組内容								
目 標 ① ( D )	KPI	両毛地域内の施設を他市町民が利用した割合				<p>集計時期の関係で、成果数値は前年度実績値となります</p> <p>10.0 5.0 0.0</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	達成率	
	H32	5.0		単位	%		69.5%	
	年度	指標	成果	達成率			×係数	
	H28	4.0	%	3.2	%		80.0%	30
	H29	4.3	%	2.7	%		63.5%	点数
	H30	4.5	%	3.1	%		68.9%	
	H31	4.8	%	3.3	%		69.5%	20.84
H32	5.0	%		%	#N/A			
目 標 ② ( D )	KPI					<p>1.0 0.5 0.0</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	達成率	
	H32			単位			—	
	年度	指標	成果	達成率			×係数	
	H28						100.0%	—
	H29						50.0%	—
	H30						0.0%	—
	H31						0.0%	—
H32					0.0%	—		
分 析 ( C )	CHECK			策定委員会評価欄				
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】前年比較をすると、「両毛地域内の施設を他市町民が利用した割合」は微増ではあるが上昇している。しかし、まだまだ相互利用できることの認知度が低い。			課題の捉え方	点数			
改 善 ( A )	ACTION			策定委員会評価欄				
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】町ホームページや広報紙で相互利用に対し町民に引き続き周知をしていく。また、引き続き町ホームページに両毛広域圏総合整備推進協議会のバナーを貼るなど、周知啓発の充実を図る。			解決・改善の捉え方	点数			
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)	
	50.00点 /50点	20.84点 /30点	— 一点	6.25点 /10点	6.88点 /10点		83.97点 /100点	